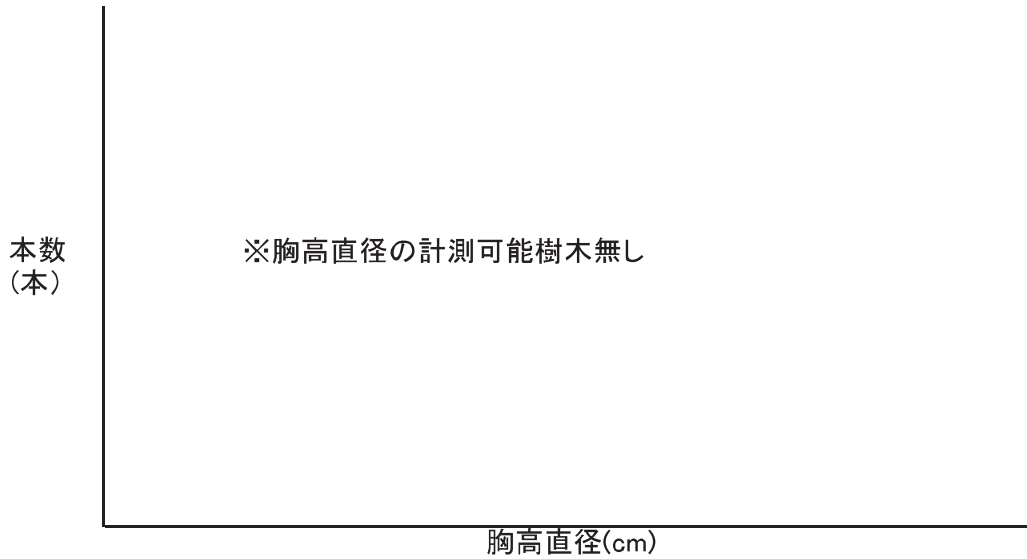


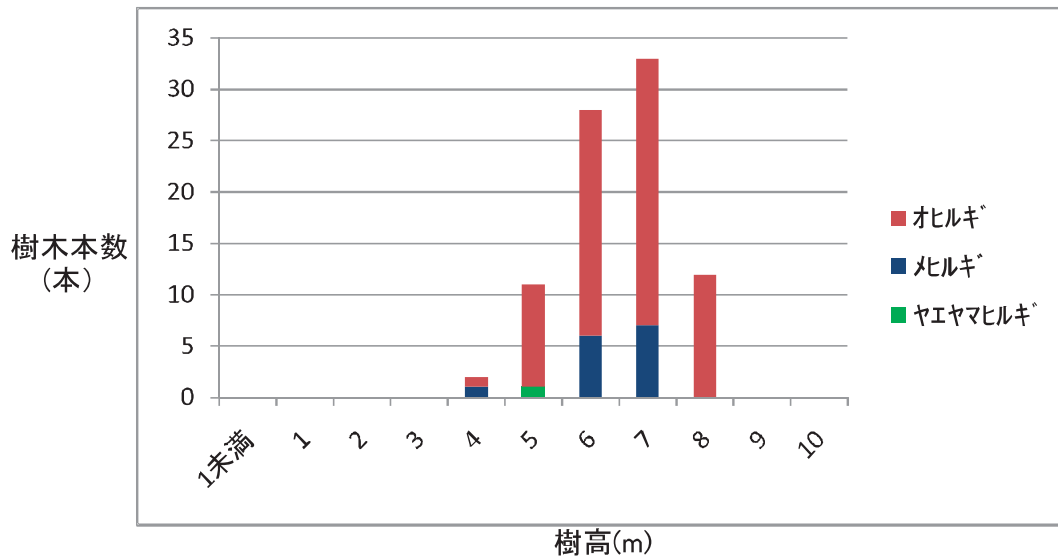
樹高の分布



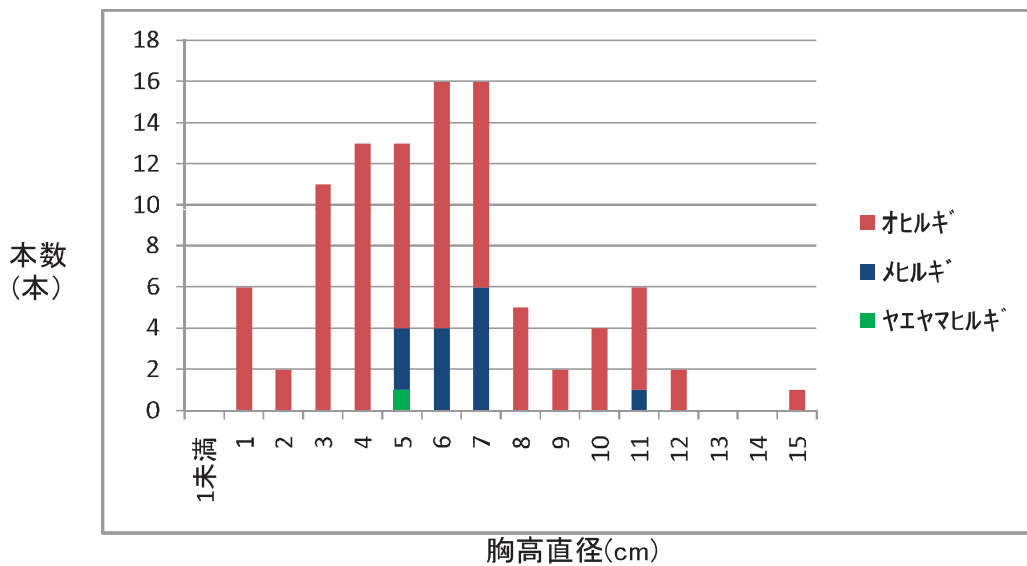
胸高直径の分布

※胸高直径(地上1.3m)、単幹株は1ヶ所、多幹株は複数箇所で計測  
 ※対象樹木は樹高1.5m以上

図-6.19.2.1.8 (3) 樹高と胸高直径の分散(宜野座福地3)



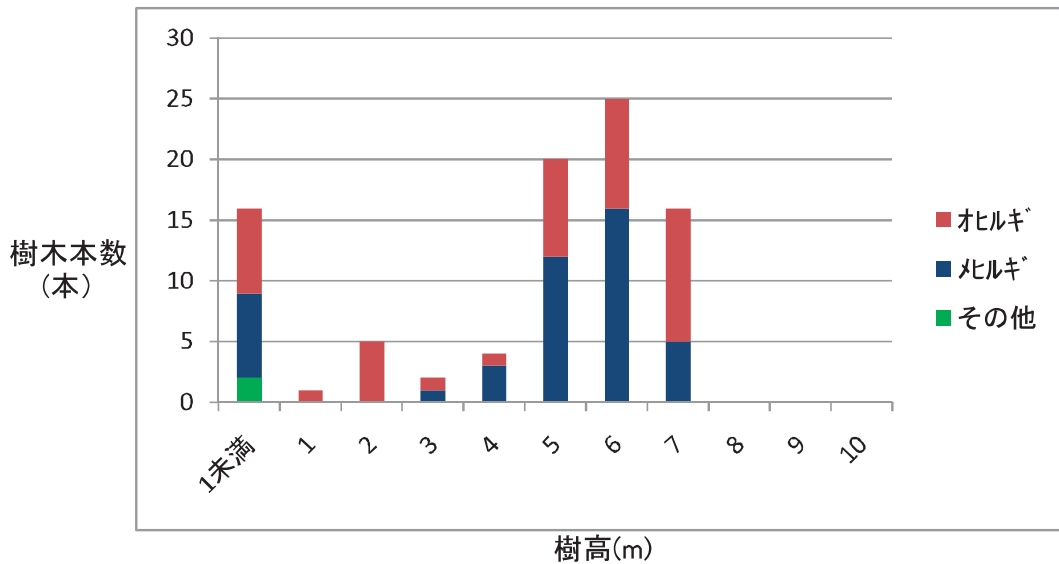
樹高の分布



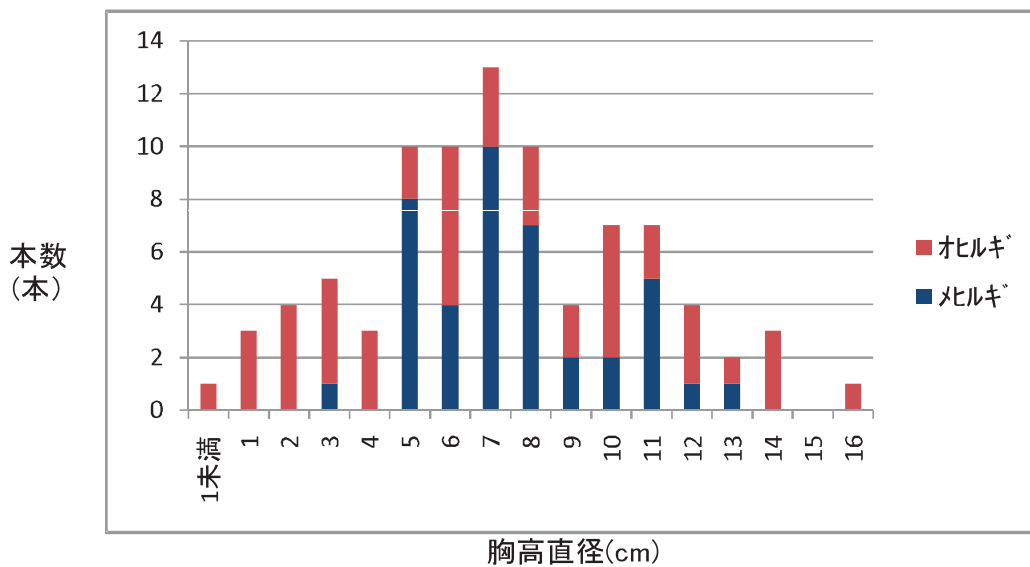
胸高直径の分布

※胸高直径(地上1.3m)、単幹株は1ヶ所、多幹株は複数箇所計測  
 ※対象樹木は樹高1.5m以上

図-6.19.2.1.8 (4) 樹高と胸高直径の分散(宜野座福地4)



樹高の分布



胸高直径の分布

※胸高直径(地上1.3m)、単幹株は1ヶ所、多幹株は複数箇所計測  
 ※対象樹木は樹高1.5m以上

図-6.19.2.1.8 (5) 樹高と胸高直径の分散(宜野座福地5)

【汀間川】

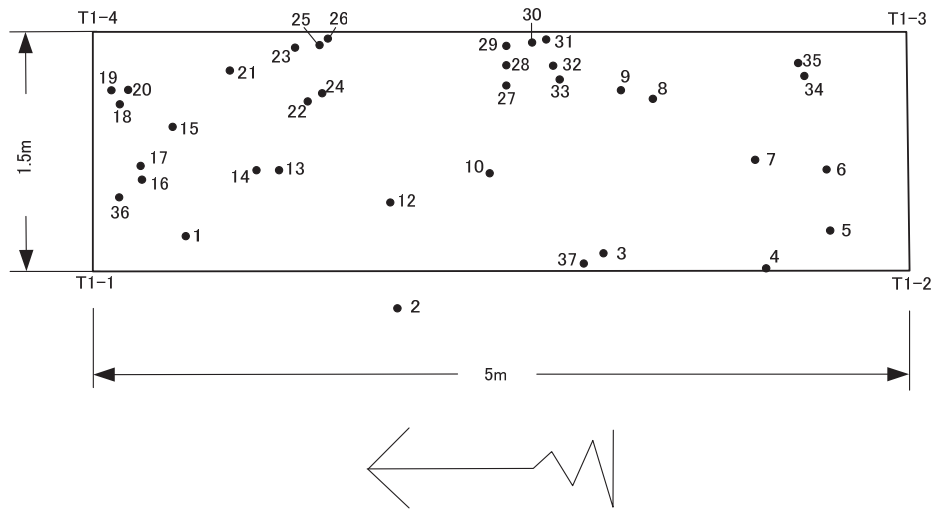


図-6. 19. 2. 1. 9(1) 汀間 1 の立木位置

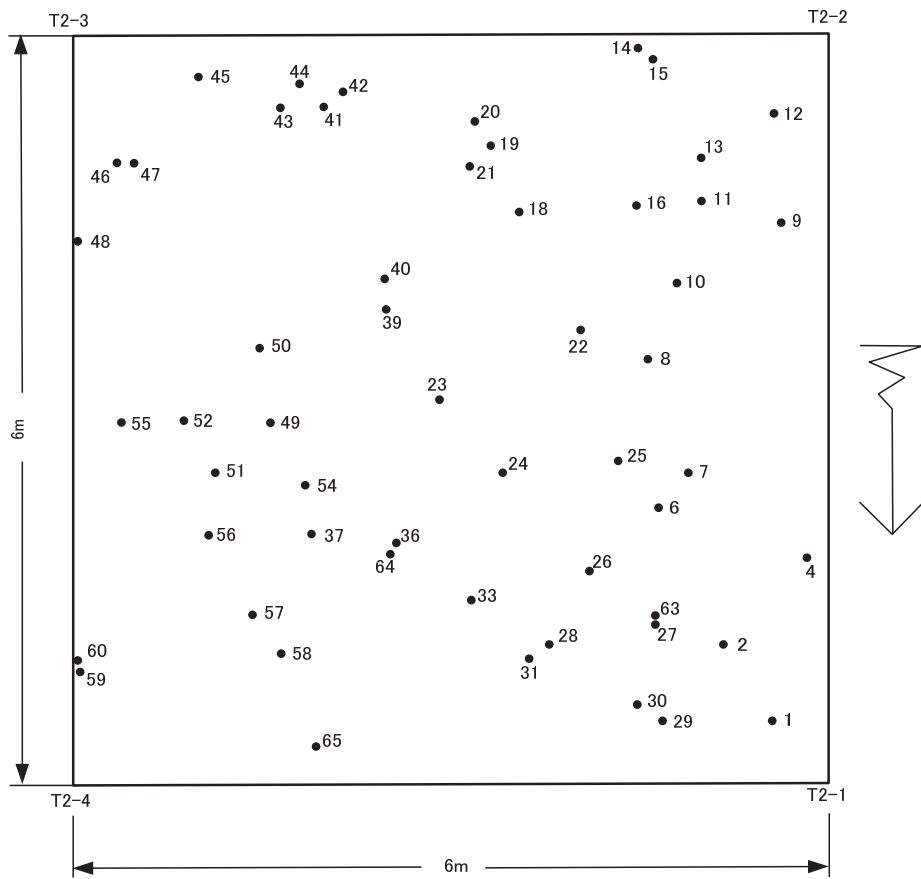


図-6. 19. 2. 1. 9(2) 汀間 2 の立木位置

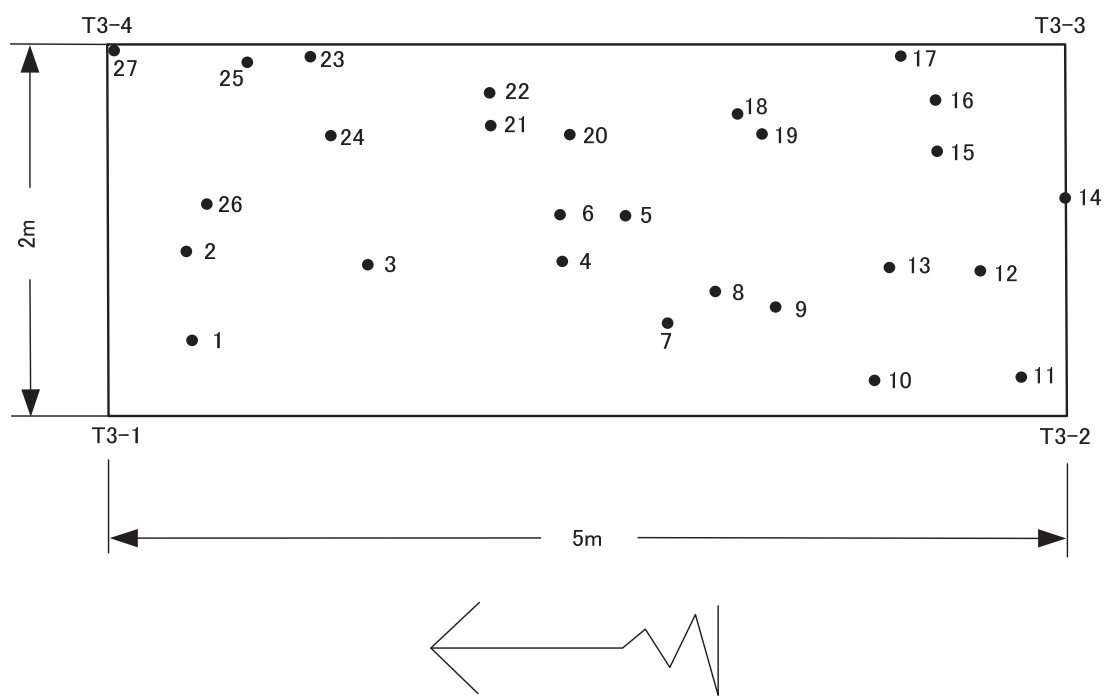


図-6. 19. 2. 1. 9(3) 汀間3の立木位置

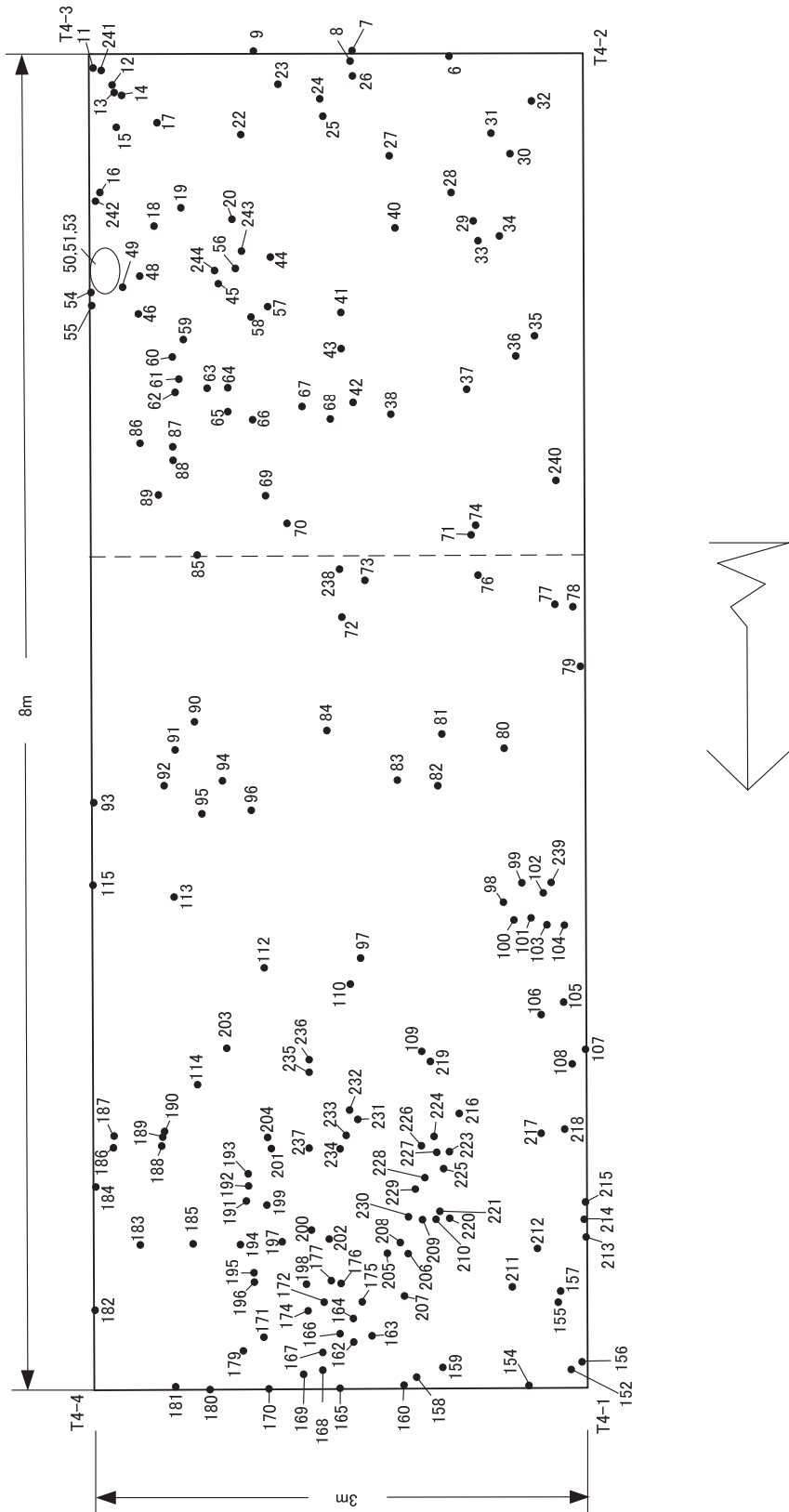


図-6. 19. 2. 1. 9(4) 汀間 4 の立木位置

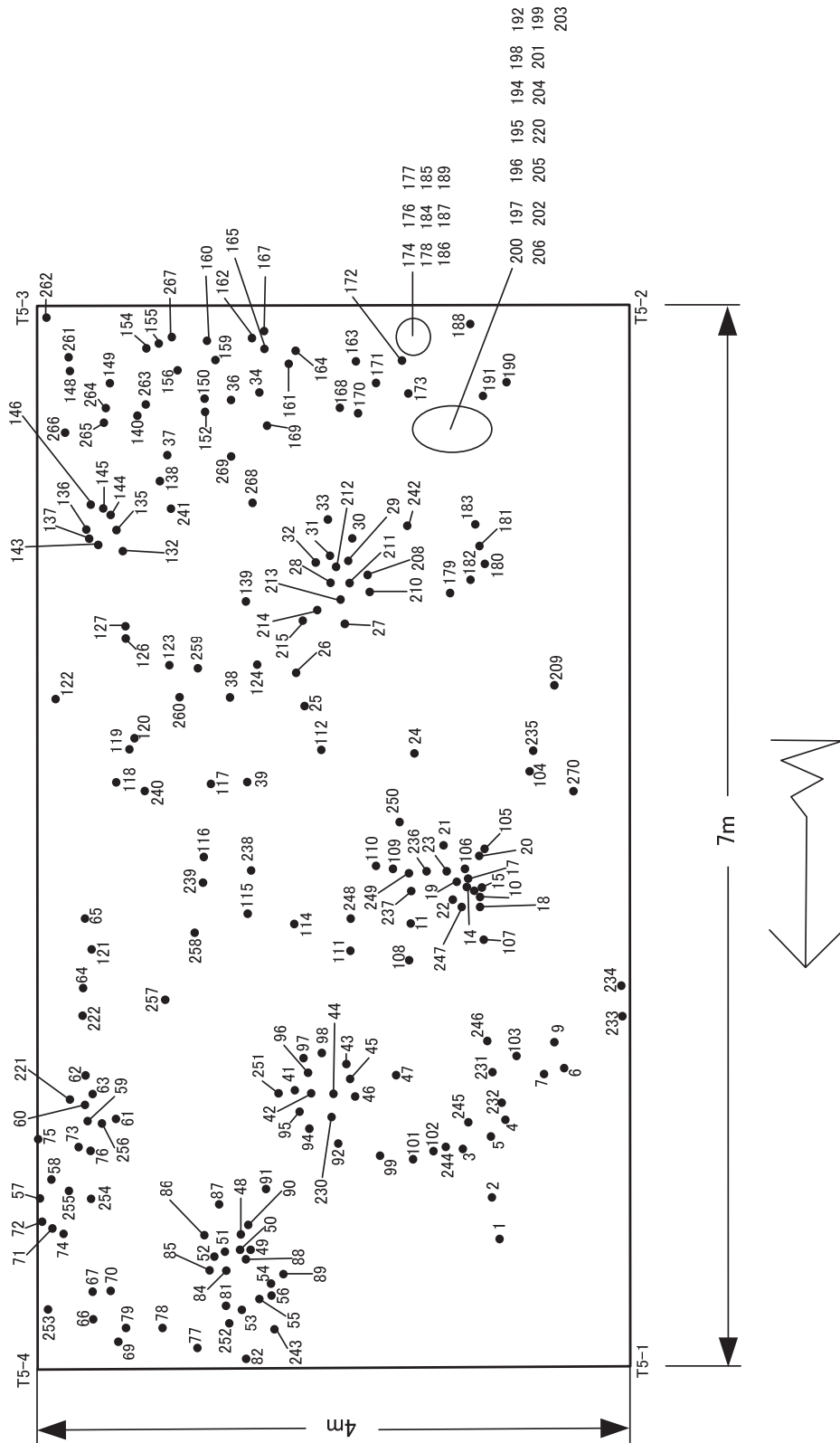


図-6. 19. 2. 1. 9(5) 汀間5の立木位置

【大浦川】

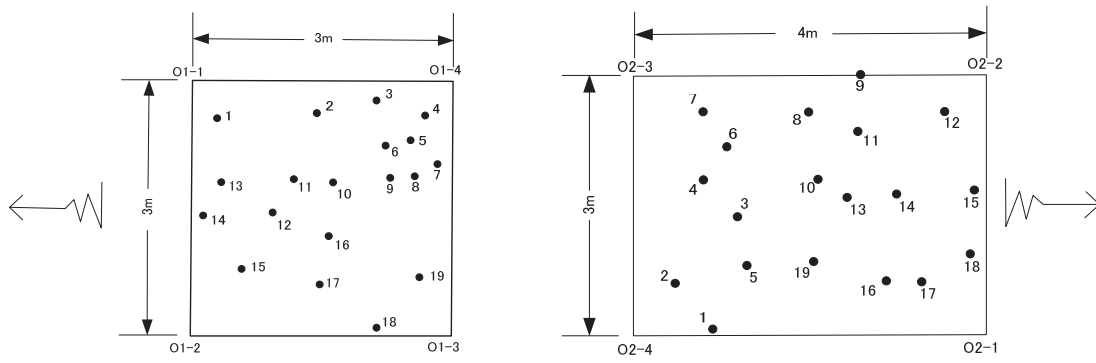


図-6.19.2.1.10(1) 大浦 1 の立木位置

図-6.19.2.1.10(2) 大浦 2 の立木位置

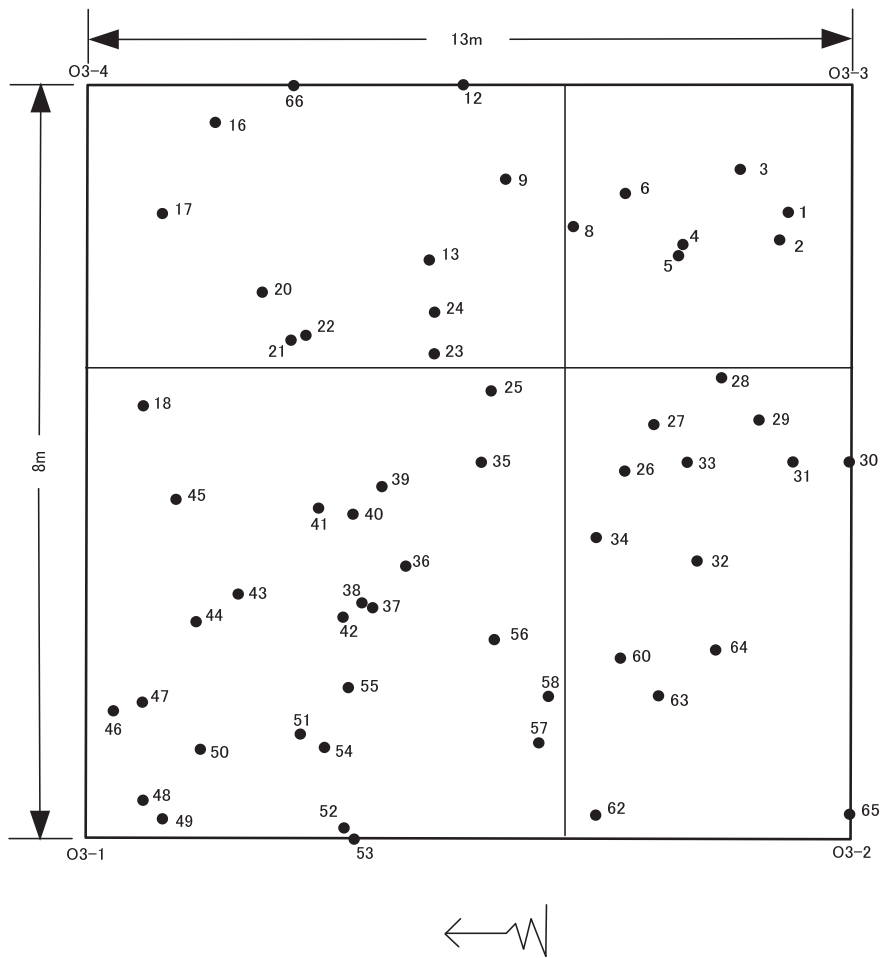


図-6.19.2.1.10(3) 大浦 3 の立木位置



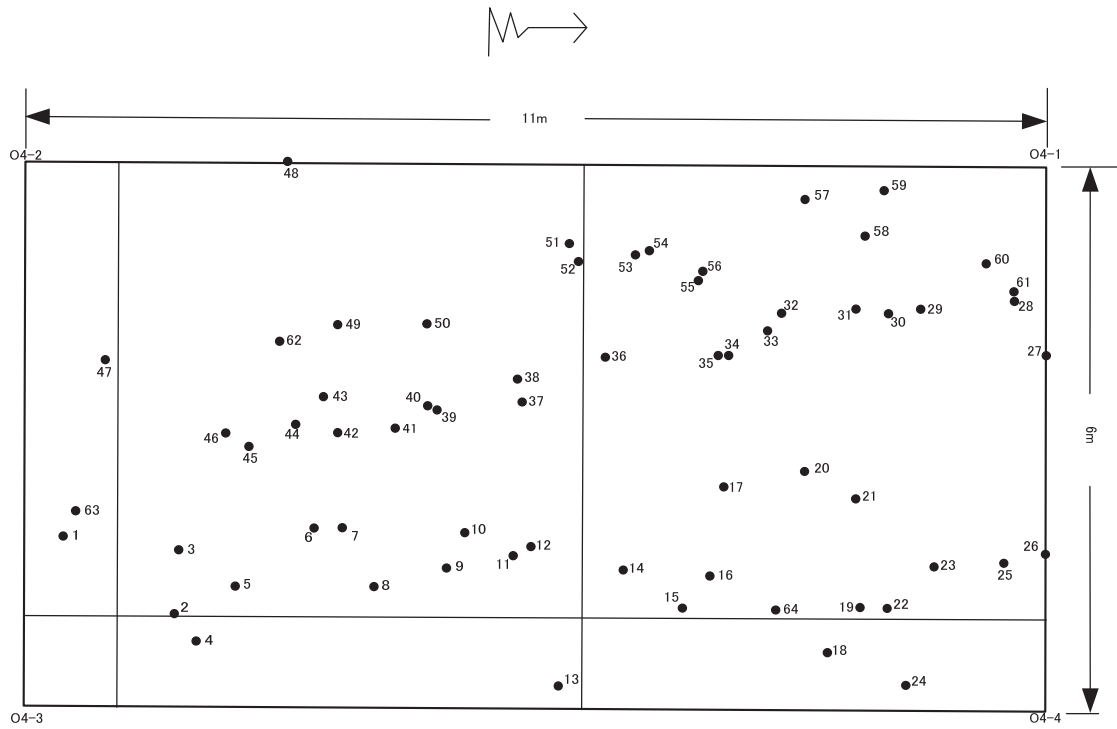


図-6. 19. 2. 1. 10(4) 大浦4の立木位置

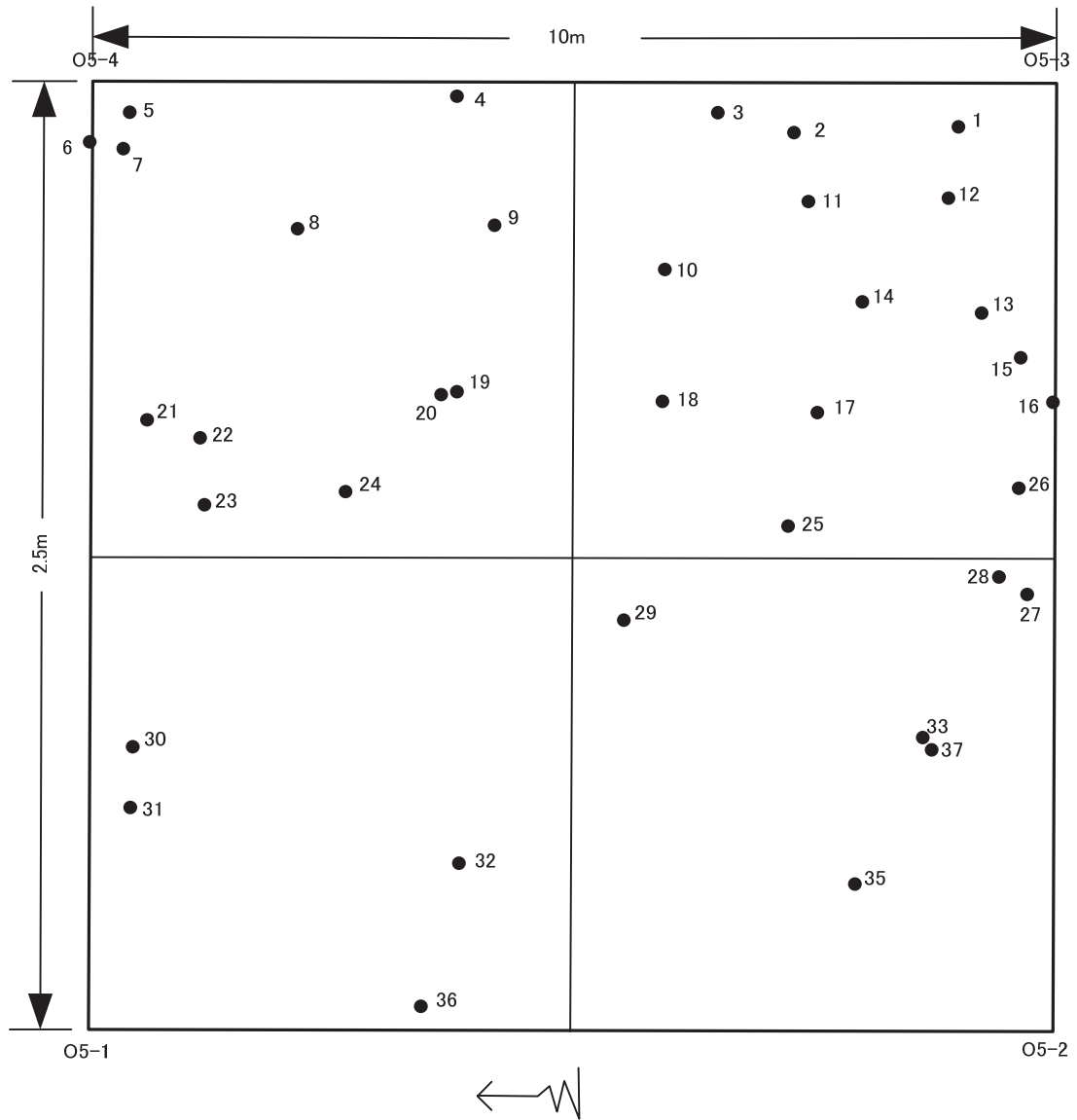


図-6. 19. 2. 1. 10(5) 大浦 5 の立木位置

【オー川】

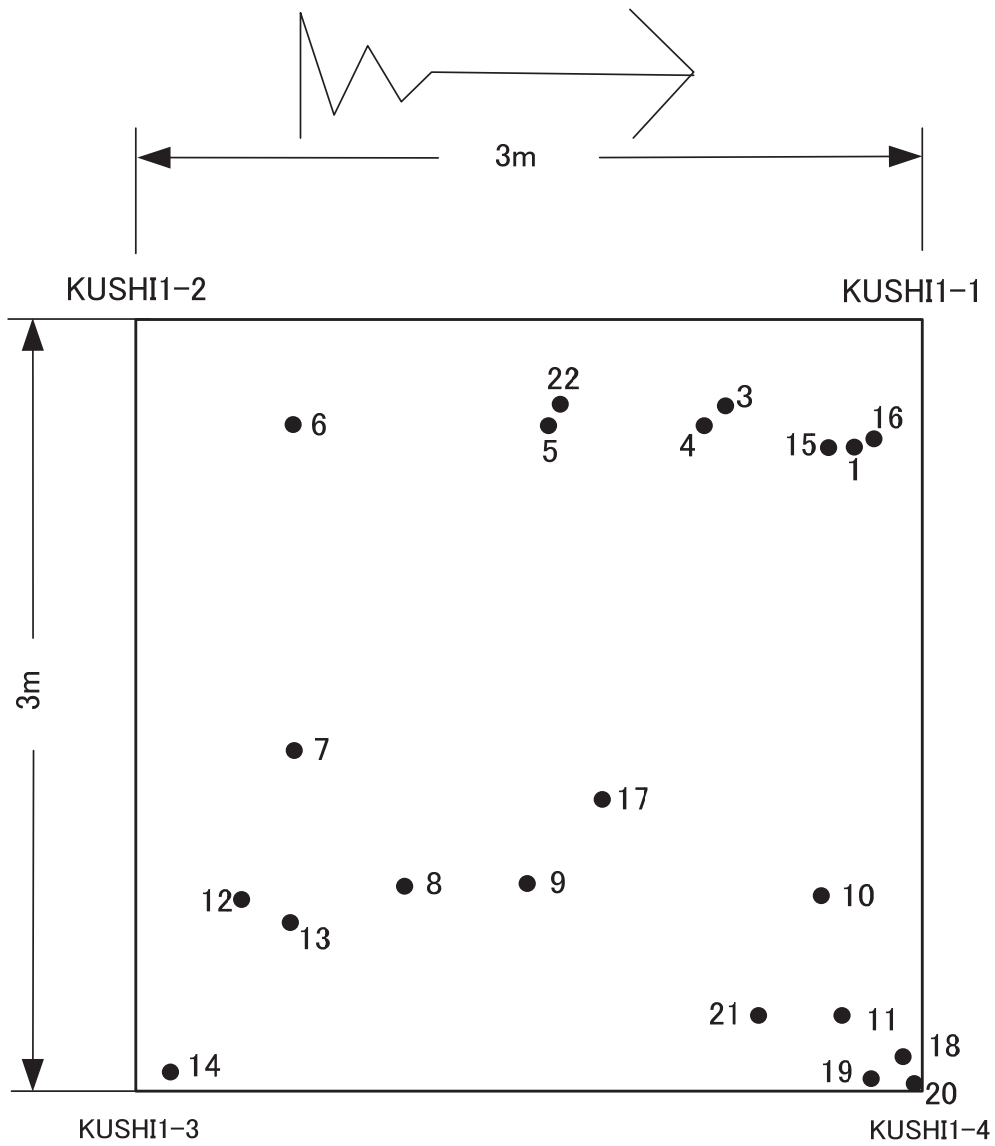


図-6. 19. 2. 1. 11(1) オー1の立木位置

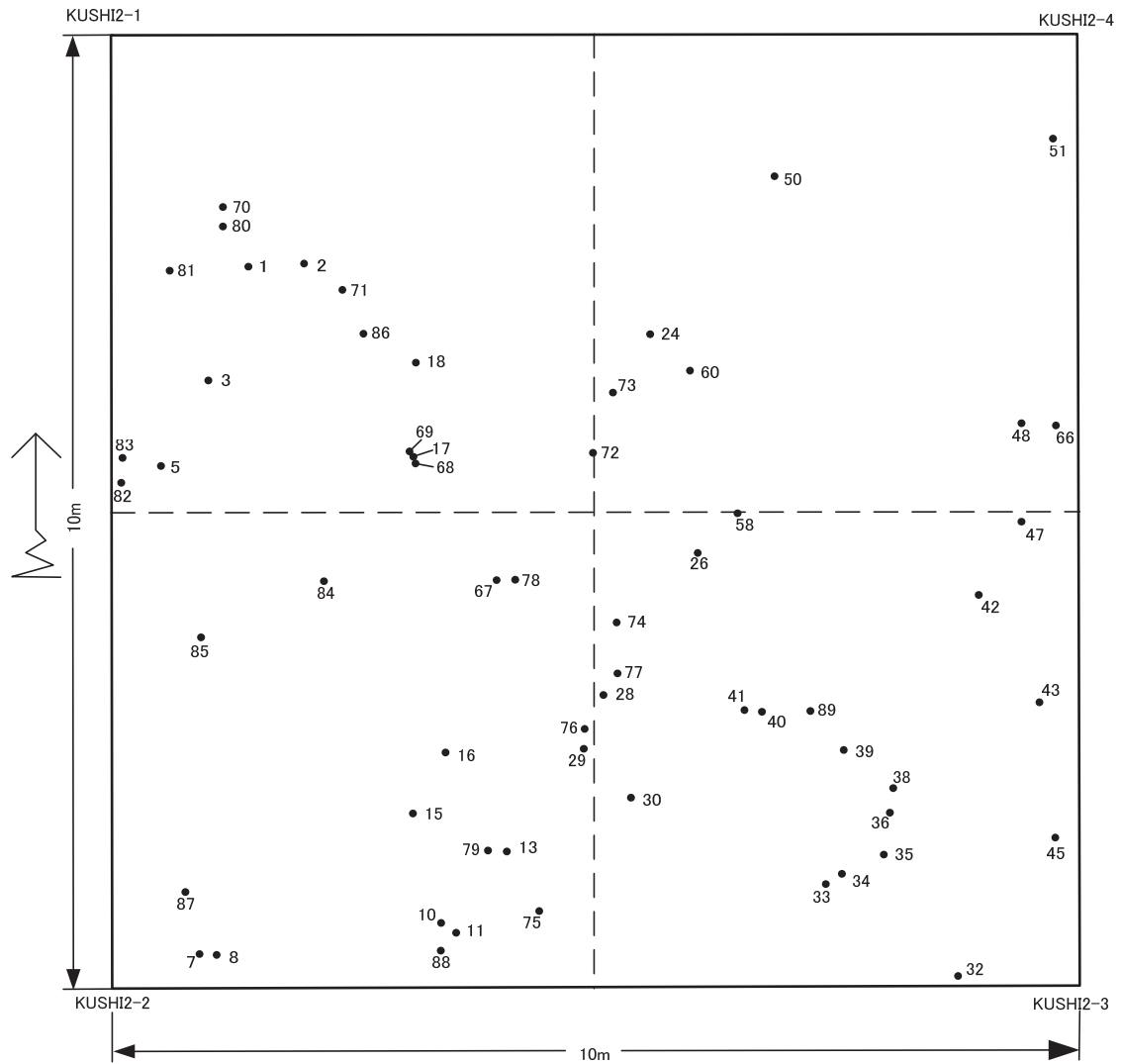


図-6. 19. 2. 1. 11(2) オー2の立木位置

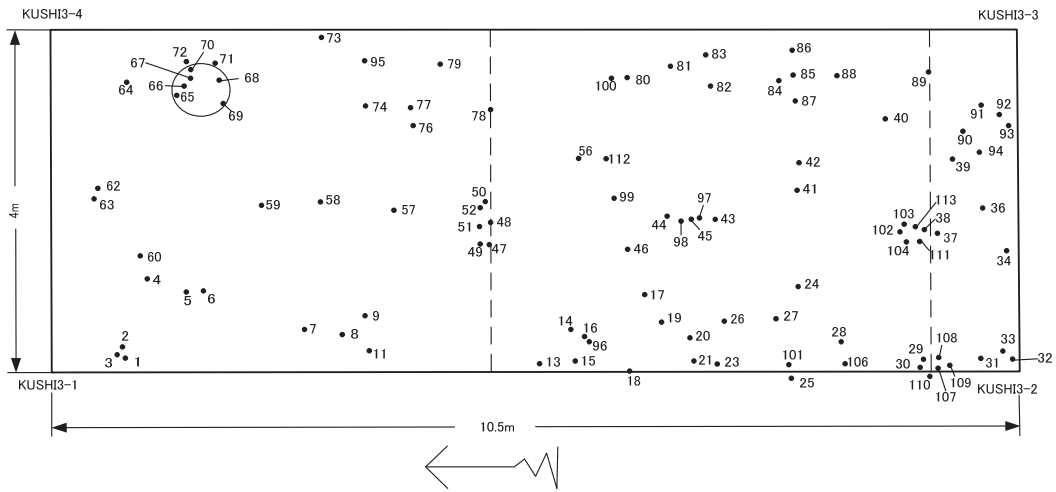


図-6. 19. 2. 1. 11(3) オー3の立木位置

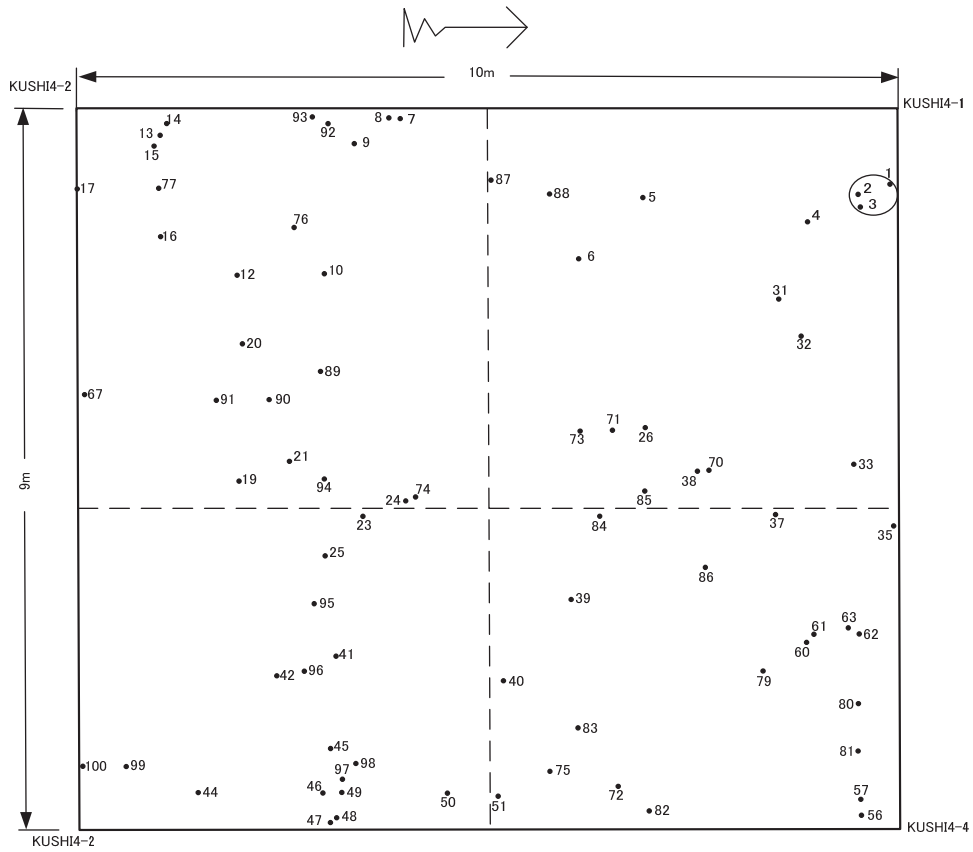


図-6. 19. 2. 1. 11(4) オー4の立木位置

KUSHI5-4

KUSHI5-3

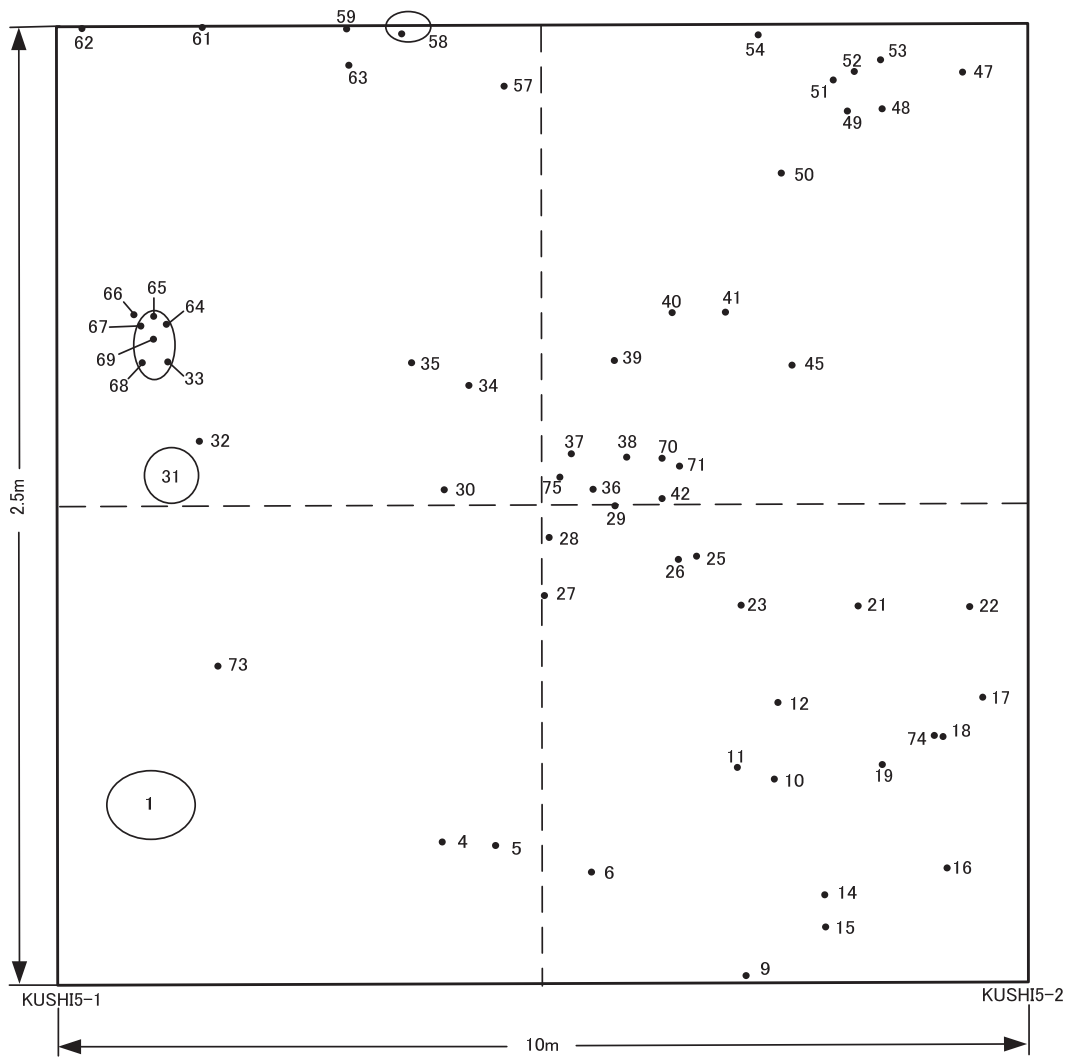


図-6. 19. 2. 1. 11(5) オー5 の立木位置

【松田慶武原川】

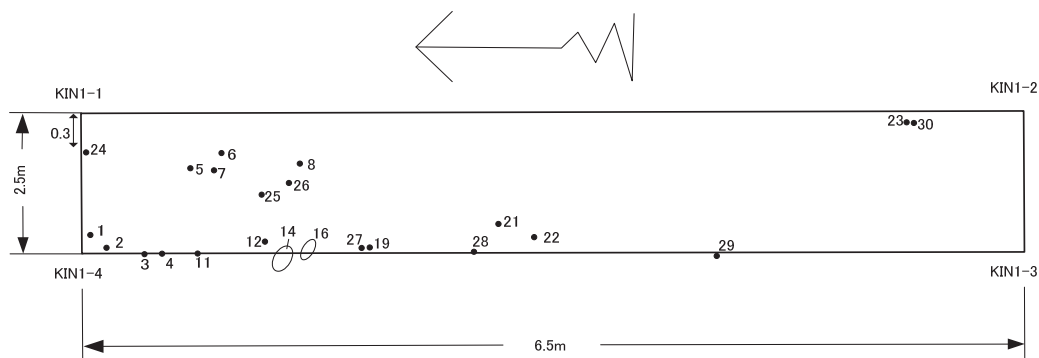


図-6. 19. 2. 1. 12(1) 慶武原 1 の立木位置

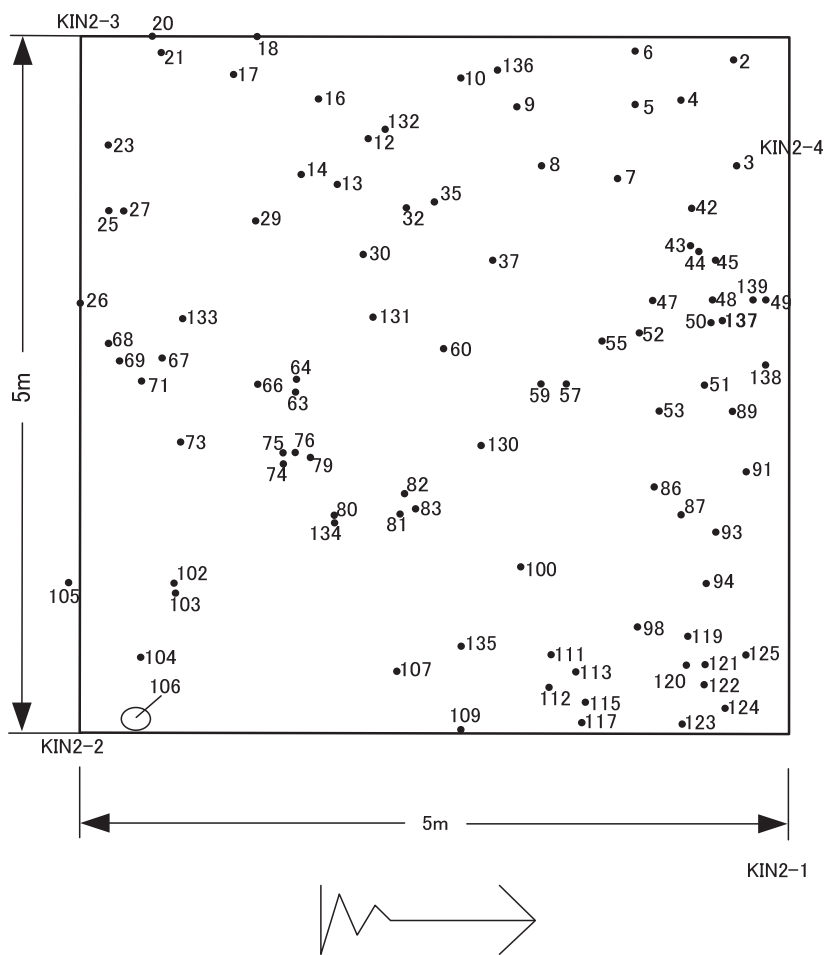


図-6. 19. 2. 1. 12(2) 慶武原 2 の立木位置

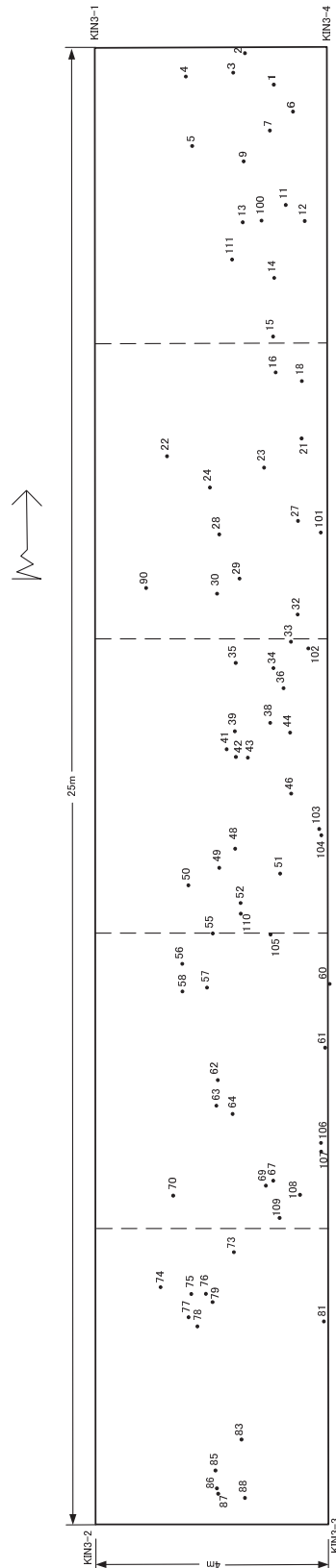


図-6. 19. 2. 1. 12(3) 慶武原 3 の立木位置



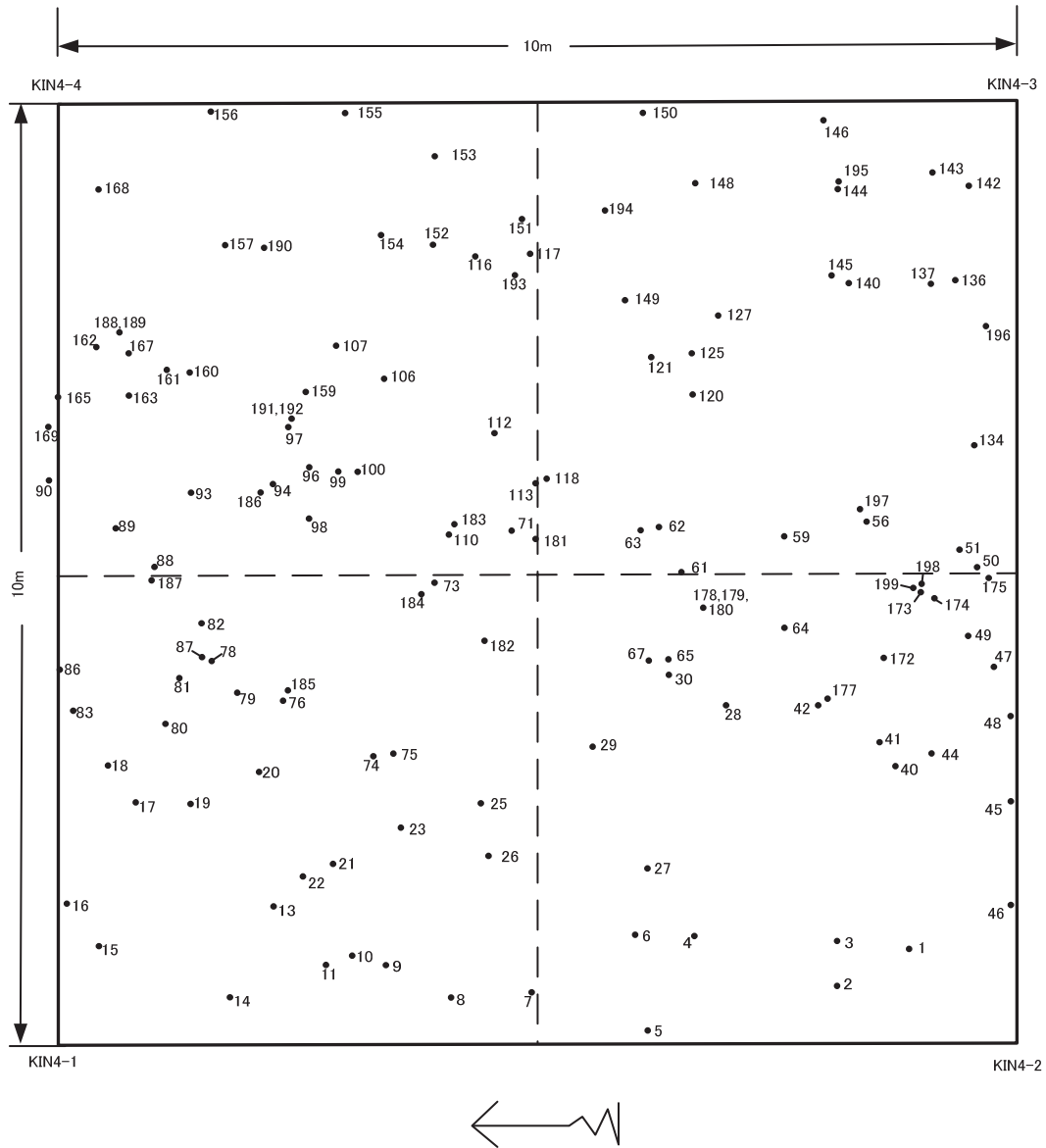


図-6. 19. 2. 1. 12(4) 慶武原 4 の立木位置

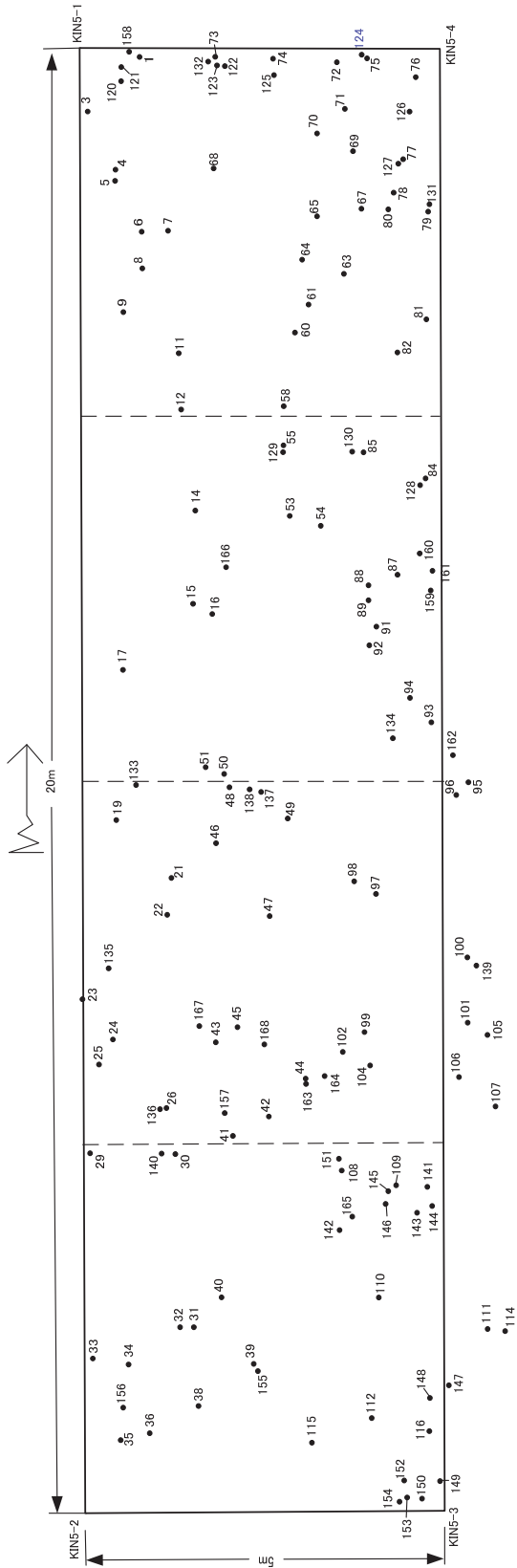


図-6. 19. 2. 1. 12(5) 慶武原 5 の立木位置

【宜野座福地川】

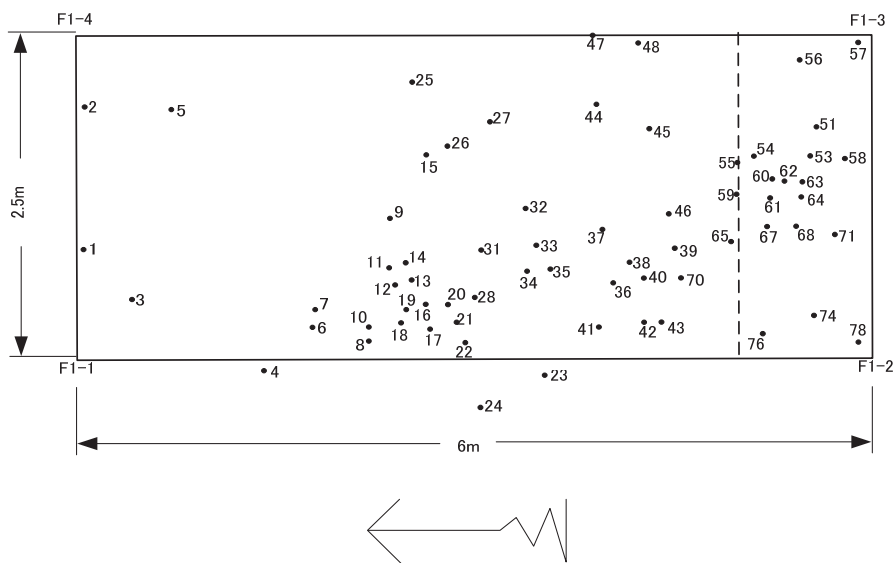


図-6. 19. 2. 1. 13(1) 宜野座福地 1 の立木位置

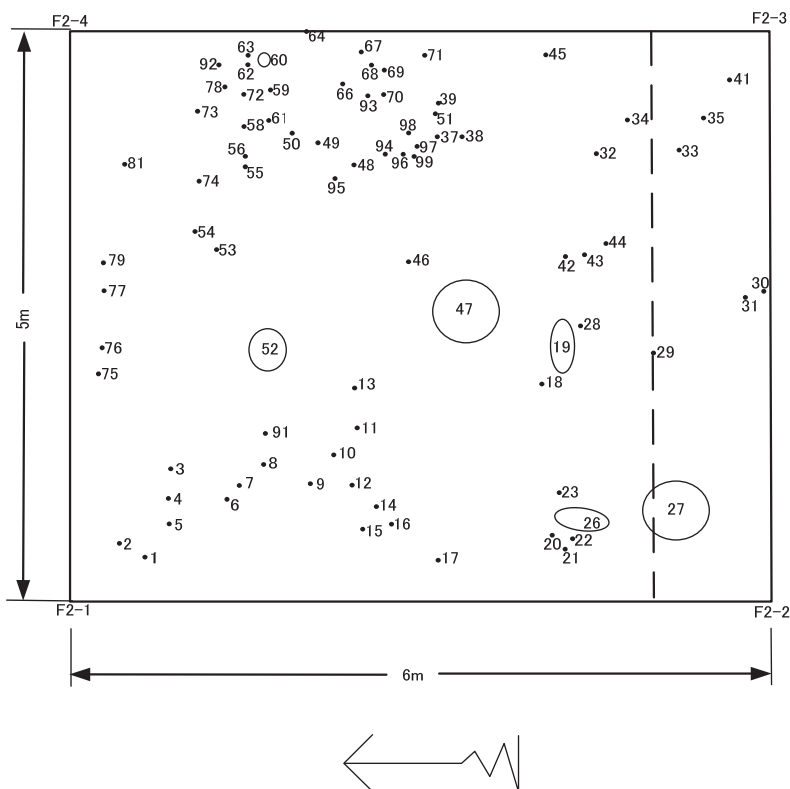


図-6. 19. 2. 1. 13(2) 宜野座福地 2 の立木位置

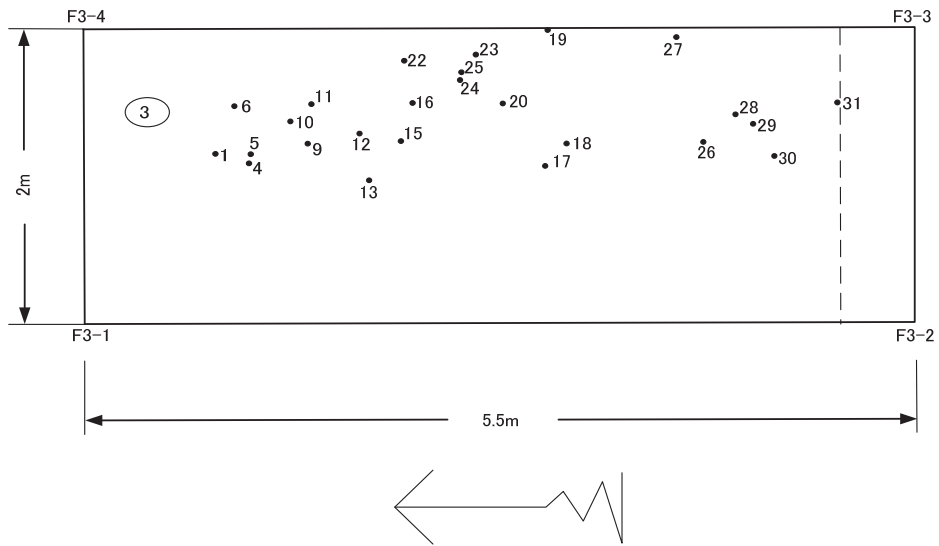


図-6. 19. 2. 1. 13(3) 宜野座福地 3 の立木位置

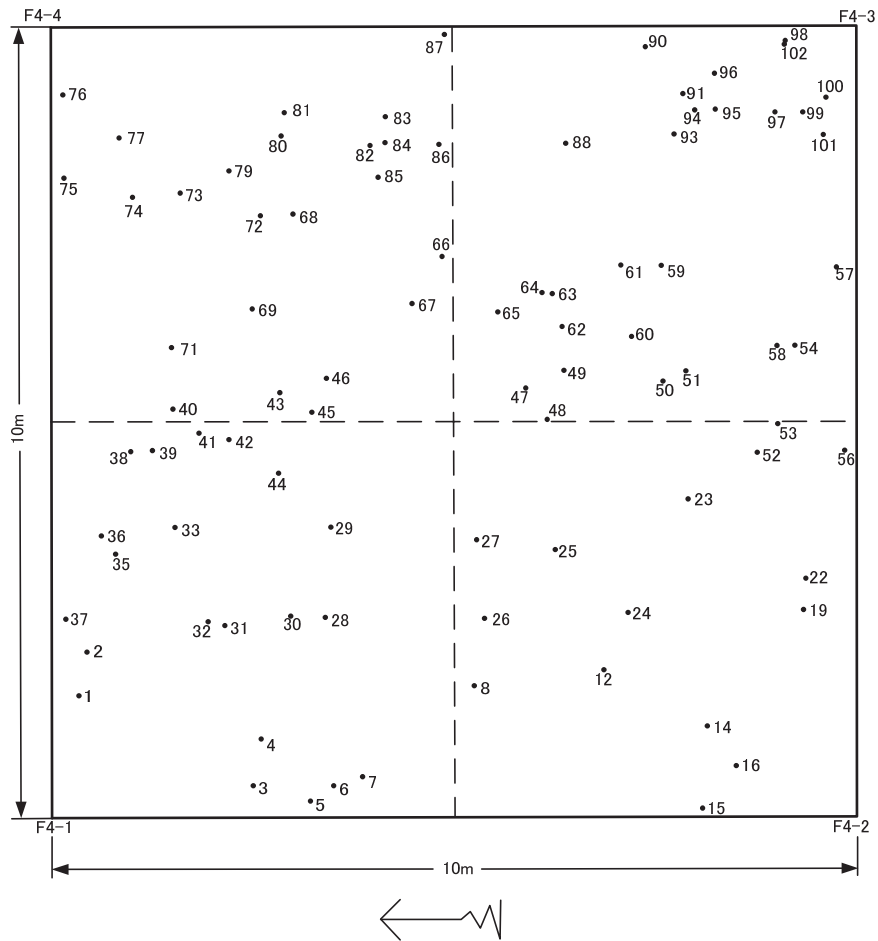


図-6. 19. 2. 1. 13(4) 宜野座福地 4 の立木位置

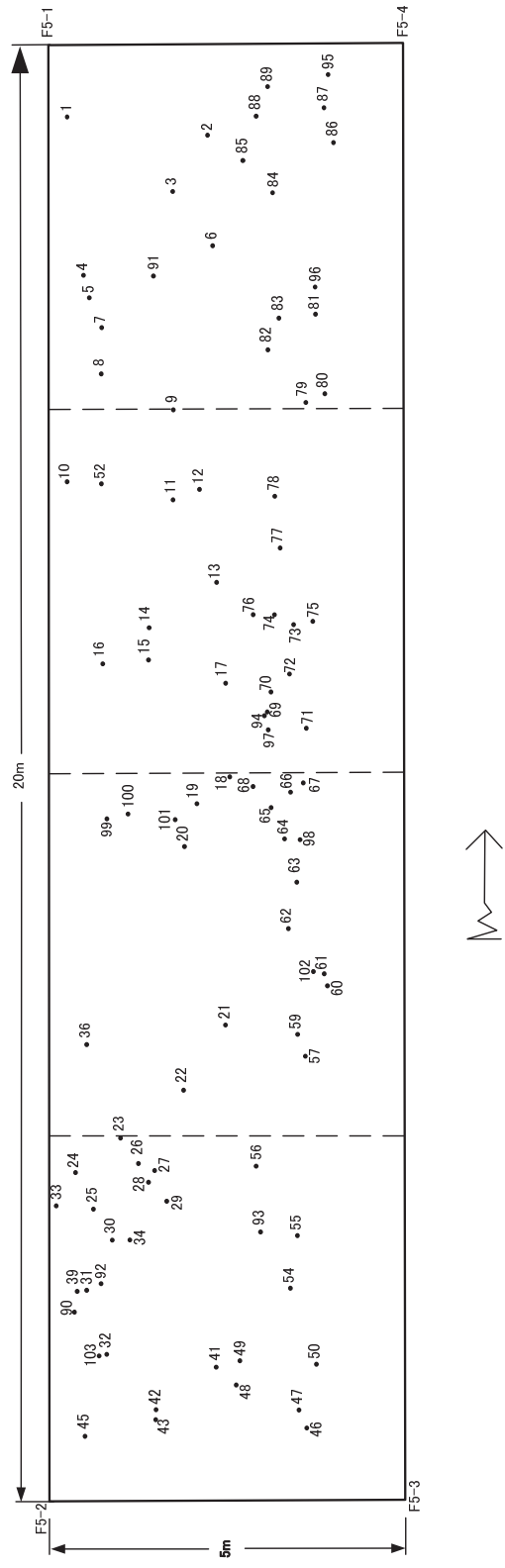


図-6. 19. 2. 1. 13(5) 宜野座福地 5 の立木位置

表-6. 19. 2. 1. 17(1) 底質分析結果(大浦川)

河川名		大浦川												
地点名		0-1				0-2-1				0-2-2				
項目	単位	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
強熱減量	%	3.3	3.2	19.0	2.6	6.5	4.5	11.6	3.8	7.2	7.7	7.6	5.7	
粒度組成	粗礫	%	-	15.3	0.0	0.0	-	10.5	0.0	0.0	-	-	-	
	中礫	%	22.3	35.1	0.0	42.7	3.2	39.5	0.8	21.1	2.5	1.5	1.2	
	細礫	%	17.0	19.4	0.3	25.1	11.6	12.3	3.9	16.8	5.5	2.6	3.4	
	粗砂	%	17.0	9.9	0.5	14.6	22.3	7.7	4.1	16.5	6.0	2.8	4.9	
	中砂	%	29.0	10.9	1.6	9.2	41.2	10.1	16.9	18.0	21.3	11.5	13.1	
	細砂	%	11.2	3.5	7.4	3.8	17.4	6.4	17.4	10.0	45.5	29.1	46.3	
	シルト分	%	2.7	4.0	86.4	3.7	3.6	9.4	53.5	14.8	16.0	34.7	25.1	
粘土分	%	0.8	1.9	3.8	0.9	0.8	4.1	3.4	2.8	3.2	17.8	6.0		
赤土濃度	kg/m <sup>3</sup>	85.1	140	320	270	346	440	440	570	510	430	660	640	
COD	mg/g	3.6	6.6	120.0	5.4	26	10	45	12	34	12	20	31	
硫化物	mg/g	0.05	0.13	1.90	0.19	0.04	0.06	0.12	0.03	0.08	0.15	0.17	0.02	
含水比	%	35.5	31.6	72.6	22.9	53.6	41.1	54.1	23.6	46.2	61.4	37.6	31.9	
密度	g/cm <sup>3</sup>	2.687	2.693	2.264	2.652	2.665	2.689	2.388	2.600	2.590	2.625	2.549	2.486	
河川名		大浦川												
地点名		0-2-3				0-3				試験方法				
項目	単位	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季					
強熱減量	%	7.5	3.8	5.6	12.6	4.3	3.6	3.5	3.4	底質調査方法* II-4				
粒度組成	粗礫	%	-	8.4	-	-	-	5.1	-	-	JIS A 1204			
	中礫	%	7.8	26.2	0.3	-	10.6	21.3	2.0	9.8				
	細礫	%	16.5	13.4	2.5	1.2	14.8	12.1	15.5	14.6				
	粗砂	%	12.8	11.4	8.2	3.3	11.7	10.0	16.9	20.5				
	中砂	%	25.9	26.2	19.7	8.5	34.5	23.4	30.5	33.9				
	細砂	%	26.5	6.5	23.5	18.5	22.0	16.5	20.3	10.6				
	シルト分	%	8.3	5.1	42.9	63.7	5.1	7.8	14.0	8.6				
粘土分	%	2.2	2.8	2.9	4.8	1.2	3.8	0.8	2.0					
赤土濃度	kg/m <sup>3</sup>	510	380	530	810	289	240	350	270	赤土流出防止対策必携（平成3年） 沖縄県環境保健部				
COD	mg/g	22	5.3	18	82	5.8	5.3	4	3	底質調査方法* II-20				
硫化物	mg/g	0.08	0.04	0.30	0.62	0.03	<0.01	0.04	0.01	底質調査方法* II-17				
含水比	%	49.3	29.1	29.0	53.9	24.2	29.2	20.6	22.6	底質調査方法* II-20				
密度	g/cm <sup>3</sup>	2.639	2.723	2.613	2.415	2.651	2.715	2.633	2.596	JIS A 1202				

注) 底質調査方法の改定について(昭和63年9月8日 環水管第127号)

※地点名は-表6. 19. 2. 1. 8と対応する。

表-6. 19. 2. 1. 17 (2) 底質分析結果(汀間川)

河川名		汀間川												試験方法	
地点名		T-1				T-2				T-3					
項目	単位	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
強熱減量	%	3.0	1.8	1.8	2.1	4.3	2.8	2.5	3.1	3.7	2.1	3.0	2.3	底質調査方法* II-4  JIS A 1204	
粒度組成	粗礫	%	-	12.9	-	11.2	-	6.5	-	-	-	-	-		
	中礫	%	2.4	29.6	7.3	28.3	2.5	12.7	-	1.6	1.2	5.3	1.1		2.3
	細礫	%	4.5	18.7	12.1	19.5	3.1	13.2	0.8	3.0	4.6	12.2	4.7		4.2
	粗砂	%	5.2	13.5	8.7	14.1	5.3	13.3	5.4	5.2	10.0	24.3	6.9		7.1
	中砂	%	27.1	16.3	29.6	16.1	26.4	37.9	25.0	25.6	27.4	50.6	21.0		27.6
	細砂	%	52.1	6.0	27.2	6.7	45.0	8.3	41.7	34.5	41.9	4.6	35.4		40.7
	シルト分	%	7.1	3.0	13.8	2.3	13.4	5.2	21.3	26.9	12.1	3.0	26.7		14.9
粘土分	%	1.5	1.3		1.8	4.3	2.9	5.8	3.2	2.9	4.2		3.2		
赤土濃度	kg/m <sup>3</sup>	301	100	190	210	519	76	200	620	369	300	490	310	赤土流出防止対策必携 (平成3年) 沖縄県環境保健部	
COD	mg/g	11	3.7	3.7	3.8	14	4.4	10.0	15.0	9.5	1.7	6.5	5.0	底質調査方法* II-20	
硫化物	mg/g	0.06	<0.01	0.01	0.01	0.07	<0.01	0.03	0.03	0.04	<0.01	0.02	0.05	底質調査方法* II-17	
含水比	%	30.2	24.0	21.3	20.9	35.5	24.8	22.7	26.8	26.3	24.9	22.3	20.1	底質調査方法* II-20	
密度	g/cm <sup>3</sup>	2.591	2.698	2.625	2.634	2.615	2.672	2.647	2.600	2.621	2.664	2.641	2.627	JIS A 1202	

注) 底質調査方法の改定について(昭和63年9月8日 環水管第127号)

※地点名は表-6. 19. 2. 1. 8 と対応する。

表-6. 19. 2. 1. 17 (3) 底質分析結果(オー川)

河川名		オー川												試験方法	
地点名		KO-1				KO-2				KO-3					
項目	単位	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
強熱減量	%	5.1	3.9	3.8	3.8	7.4	6.3	6.2	4.2	5.7	3.4	3.4	4.1	底質調査方法* II-4  JIS A 1204	
粒度組成	粗礫	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	中礫	%	3.1	3.6	-	7.0	6.6	9.4	-	3.2	1.1	1.3	-		0.9
	細礫	%	4.1	5.4	5.0	5.9	12.6	7.3	-	6.7	4.3	3.2	-		3.2
	粗砂	%	4.5	6.2	6.9	5.5	7.0	6.3	16.6	11.9	5.9	7.4	4.2		5.8
	中砂	%	14.6	13.4	16.5	13.7	19.7	9.2	21.3	20.8	18.5	14.6	8.9		9.8
	細砂	%	50.1	34.9	33.9	34.5	40.6	25.8	20.5	28.3	55.8	45.5	41.1		41.5
	シルト分	%	16.2	24.0	31.9	32.1	10.4	27.8	36.6	25.7	10.9	18.4	41.0		32.0
粘土分	%	7.4	12.5	5.8	1.3	3.3	14.2	5.0	3.4	3.5	9.6	4.8	6.8		
赤土濃度	kg/m <sup>3</sup>	747	730	730	600	985	740	1100	680	1000	580	600	700	赤土流出防止対策必携 (平成3年) 沖縄県環境保健部	
COD	mg/g	18	10	10.0	20.0	28	14	21.0	22.0	13.0	7.8	6.7	9.0	底質調査方法* II-20	
硫化物	mg/g	0.02	0.07	0.22	0.06	0.02	0.07	0.19	0.10	0.05	0.28	0.13	0.06	底質調査方法* II-17	
含水比	%	43.6	39.2	27.9	29.8	52.1	69.1	39.8	31.6	40.1	31.8	22.2	26.5	底質調査方法* II-20	
密度	g/cm <sup>3</sup>	2.601	2.636	2.580	2.351	2.595	2.599	2.510	2.455	2.616	2.658	2.645	2.575	JIS A 1202	

注) 底質調査方法の改定について(昭和63年9月8日 環水管第127号)

※地点名は表-6. 19. 2. 1. 8 と対応する。

表-6. 19. 2. 1. 17 (4) 底質分析結果(松田慶武原川)

河川名		松田慶武原川												試験方法	
地点名		Ki-1				Ki-2				Ki-3					
項目	単位	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
強熱減量	%	8.3	5.9	6.3	2.5	7.0	7.4	5.0	6.3	4.6	4.3	4.6	7.3	底質調査方法* II-4	
粒度組成	粗礫	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	JIS A 1204	
	中礫	%	1.8	5.4	-	8.9	2.2	2.4	-	-	1.4	0.6	-		0.8
	細礫	%	2.0	3.4	-	14.5	3.2	3.6	-	0.5	3.2	0.7	2.5		3.5
	粗砂	%	2.9	3.5	0.8	20.4	3.9	5.5	5.4	0.6	3.3	1.8	8.3		4.8
	中砂	%	33.2	9.0	8.3	29.7	26.7	15.4	10.3	5.6	20.1	13.9	17.0		10.8
	細砂	%	45.0	28.5	35.4	14.1	46.4	27.4	31.8	38.8	56.6	51.7	41.9		39.0
	シルト分	%	13.2	33.3	45.1	8.2	14.7	30.3	43.9	50.5	13.0	20.8	21.5		37.3
粘土分	%	1.9	16.9	10.4	4.2	3.0	15.4	8.6	4.0	2.6	10.5	8.8	3.8		
赤土濃度	kg/m <sup>3</sup>	577	910	940	380	810	880	940	980	568	510	870	870	赤土流出防止対策必携 (平成3年) 沖縄県環境保健部	
COD	mg/g	42	13	22	11	27	16	10	36	20	12	13	46	底質調査方法* II-20	
硫化物	mg/g	0.65	0.19	0.21	0.08	0.10	0.32	0.29	0.18	0.03	0.17	0.12	0.09	底質調査方法* II-17	
含水比	%	66.7	50.9	36.5	23.5	55.7	78.1	31.7	42.5	42.5	46.6	28.2	41.9	底質調査方法* II-20	
密度	g/cm <sup>3</sup>	2.572	2.626	2.585	2.625	2.604	2.704	2.596	2.487	2.612	2.651	2.560	2.406	JIS A 1202	

注)底質調査方法の改定について(昭和63年9月8日 環水管第127号)

※地点名は表-6. 19. 2. 1. 8 と対応する。

表-6. 19. 2. 1. 17 (5) 底質分析結果(宜野座福地川)

河川名		宜野座福地川												試験方法	
地点名		F-1				F-2				F-3					
項目	単位	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
強熱減量	%	5.7	4.5	2.1	5.6	5.6	5.0	3.5	4.0	4.6	2.3	2.6	3.6	底質調査方法* II-4	
粒度組成	粗礫	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	JIS A 1204	
	中礫	%	16.6	31.1	6.0	3.7	9.7	9.7	5.1	5.3	1.8	13.8	-		1.6
	細礫	%	16.1	15.2	14.4	5.9	12.0	10.4	9.5	6.1	5.6	12.3	1.0		4.9
	粗砂	%	11.0	7.6	16.4	4.1	16.6	11.4	14.6	16.6	13.8	14.0	3.6		11.6
	中砂	%	19.1	8.8	16.0	10.3	22.5	17.5	18.1	20.3	45.8	30.9	15.1		31.6
	細砂	%	28.0	12.2	29.1	32.1	26.9	15.2	27.2	17.5	25.0	13.9	47.9		21.7
	シルト分	%	7.2	16.6	15.4	36.5	10.4	24.1	19.5	29.5	6.5	10.5	28.4		22.0
粘土分	%	2.0	8.5	2.7	7.4	1.9	11.7	6.0	4.7	1.6	4.6	4.0	6.6		
赤土濃度	kg/m <sup>3</sup>	719	830	700	900	767	1100	940	1100	584	660	680	1300	赤土流出防止対策必携 (平成3年) 沖縄県環境保健部	
COD	mg/g	25	11.2	6.3	36.0	21	10.8	11.0	16.0	7.5	5.0	2.4	7.2	底質調査方法* II-20	
硫化物	mg/g	0.06	0.15	0.03	0.07	0.06	0.04	0.08	0.04	0.07	<0.01	0.23	0.05	底質調査方法* II-17	
含水比	%	52.1	50.3	18.3	32.5	43.6	42.4	24.5	27.3	34.8	24.1	21.1	24.1	底質調査方法* II-20	
密度	g/cm <sup>3</sup>	2.591	2.605	2.626	2.579	2.586	2.676	2.602	2.483	2.603	2.654	2.654	2.611	JIS A 1202	

注)底質調査方法の改定について(昭和63年9月8日 環水管第127号)

※地点名は表-6. 19. 2. 1. 8 と対応する。

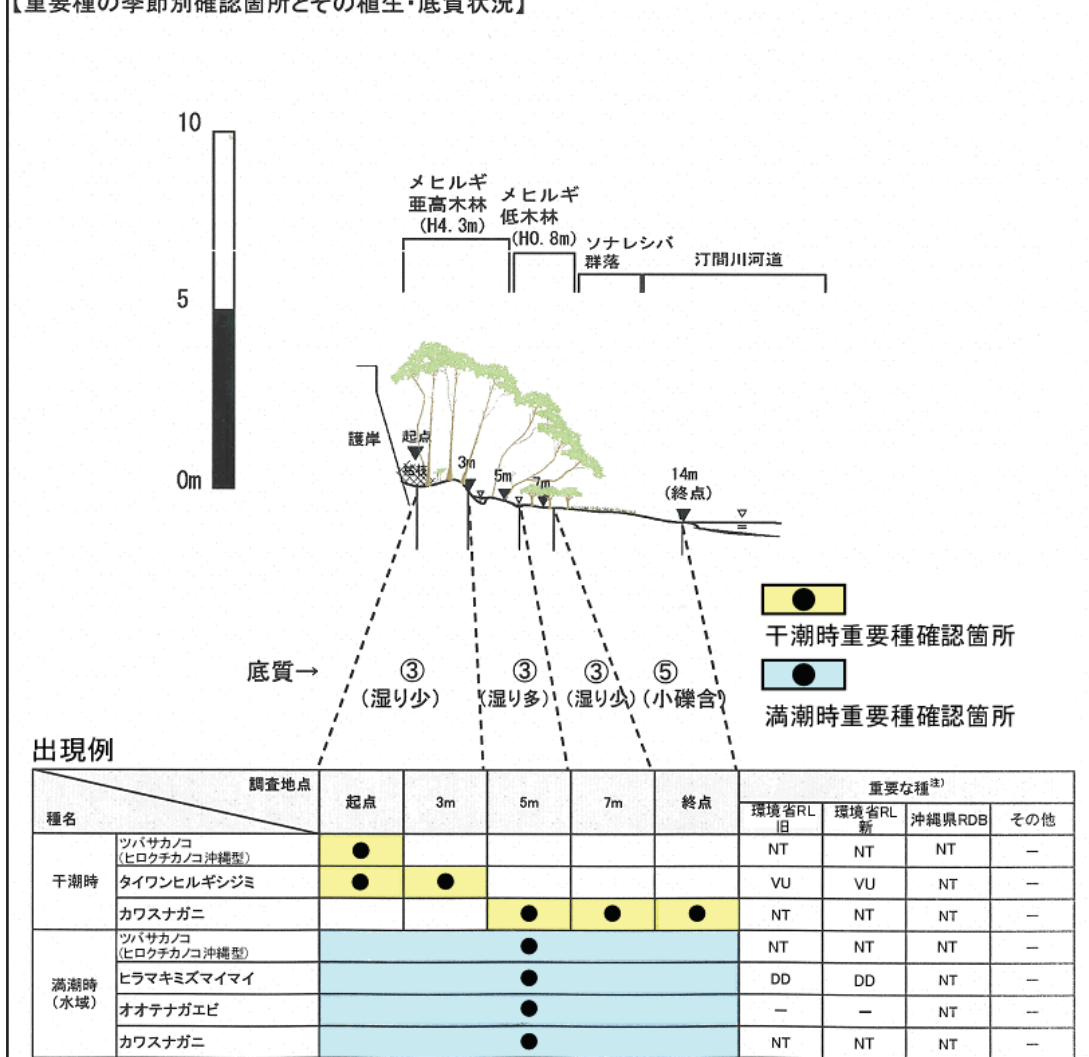


測線名	汀間川マングローブ林 地点1									
該当箇所	マングローブ域 上流部									
植生・底質マトリックス	植生高	← 低 → 高 →					凡例			
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグラ群落	マングローブ林						
	底質		含(メヒルギヤマヒルギ)低木林	メヒルギ低木林	メヒルギ亜高木林	オヒルギヤマヒルギ低木林		オヒルギヤマヒルギ亜高木林	オヒルギヤマヒルギ低木林	オヒルギヤマヒルギ亜高木林
	①泥									
	②砂礫含む泥									
	③砂泥									
	④砂									
	⑤小礫含む砂									
⑥砂礫										

・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。

当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ  
 当該測線で確認した植生・底質タイプ  
 調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分

環境情報図



注) 凡例は以下のとおりです。

環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類) (環境省 2007)  
 レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物) (環境省 2006)

環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物) (環境省 2012)  
 沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ(沖縄県 2005)

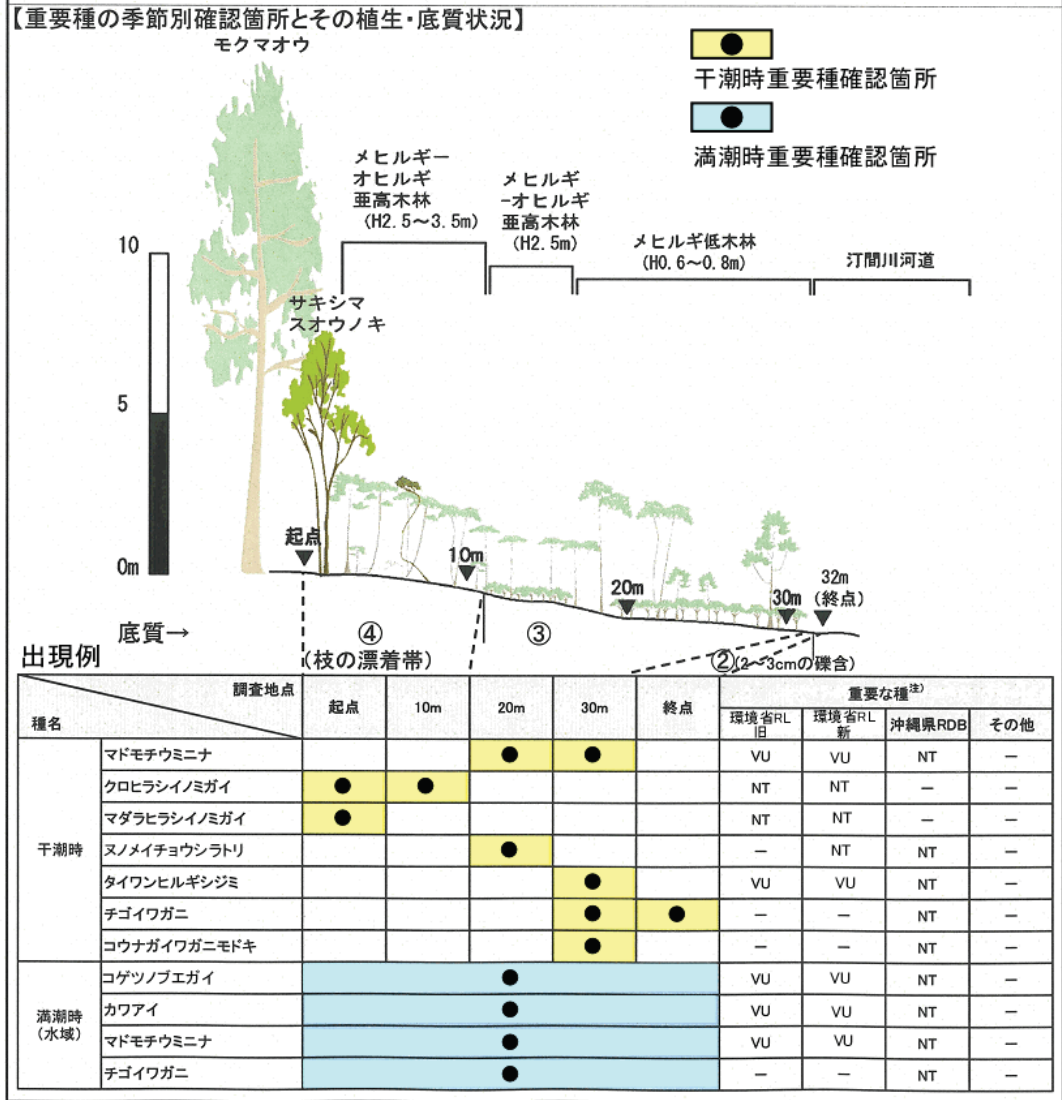
(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類 (CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

資料: 「シュワブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.14 (1) マングローブ林の地点別環境情報(汀間川:地点1)

測線名	汀間川マングローブ林 地点2								
該当箇所	マングローブ域 中流部								
植生・底質マトリックス	植生高	← 低 → 高 →						凡例	
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグラ群落	マングローブ林					・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。 
	底質			含む メヒルギ マヤヒルギ メヒルギ 低木林	メヒルギ マヤヒルギ メヒルギ 高木林	メヒルギ マヤヒルギ メヒルギ 高木林	メヒルギ マヤヒルギ メヒルギ 高木林		
	①泥								
	②砂礫含む泥								
	③砂泥								
	④砂								
	⑤小礫含む砂								
⑥砂礫									

環境情報図



注) 凡例は以下のとおりです。

環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類) (環境省 2007)

レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物) (環境省 2006)

環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物) (環境省 2012)




沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類 (CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

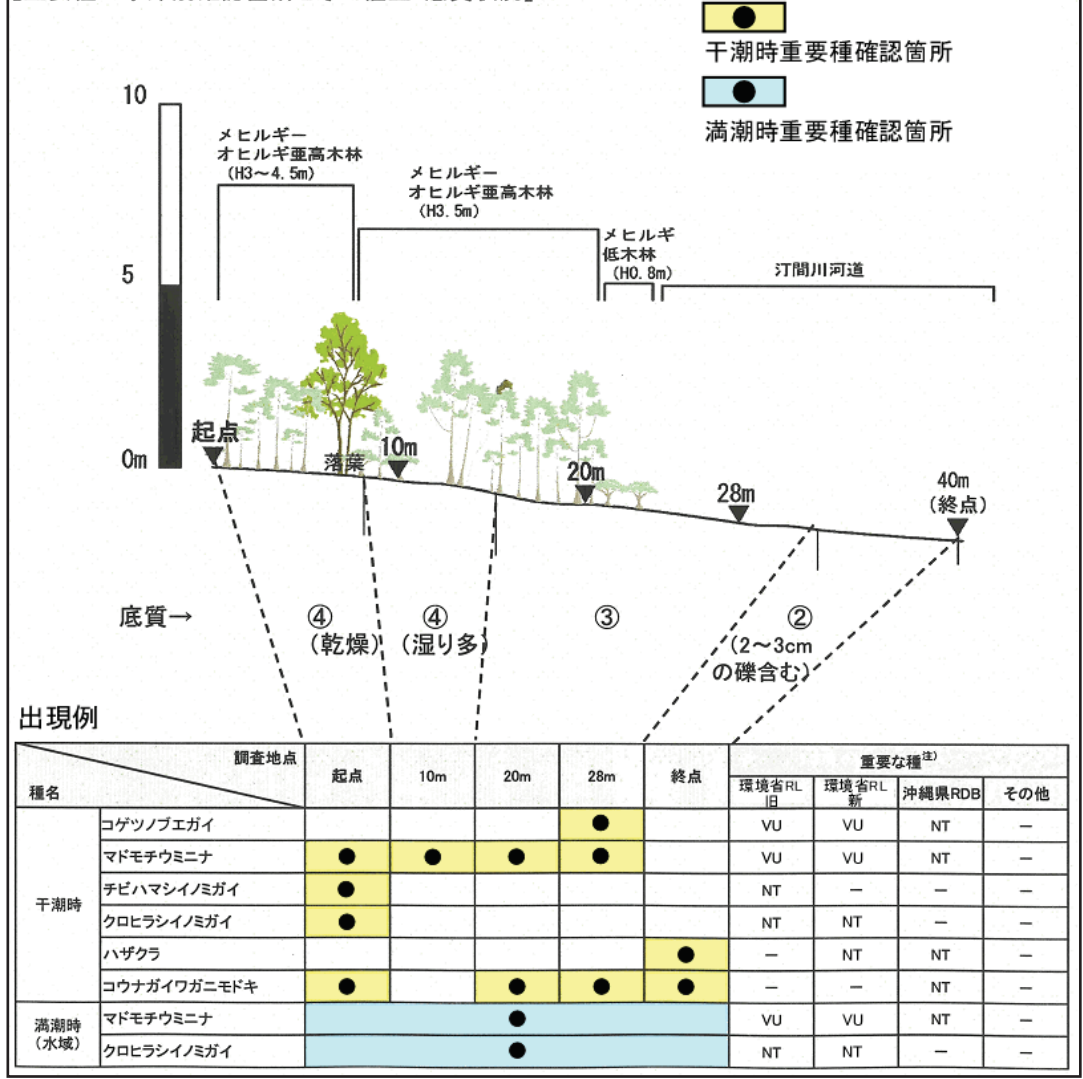
資料: 「シュワブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.14 (2) マングローブ林の地点別環境情報(汀間川:地点2)

測線名	汀間川マングローブ林 地点3										
該当箇所	マングローブ域 下流部										
植生・底質マトリックス	植生高	低	←-----→					高			
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレム グラ群落	マングローブ林					凡例 ・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。   当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ  当該測線で確認した植生・底質タイプ  調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分		
	底質			含む (メヒルギ ヤエマヒルギ 低木林)	メヒルギ 低木林	メヒルギ 亜高木林	オヒルギ 亜高木林	オヒルギ 高木林		オヒルギ 亜高木林	オヒルギ 高木林 (発達林分)
	①泥										
	②砂礫含む泥										
	③砂泥										
	④砂										
	⑤小礫含む砂										
⑥砂礫											

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】



注) 凡例は以下のとおりです。

- 環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類) (環境省 2007)
- レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物) (環境省 2006)
- 環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物) (環境省 2012)
- 沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ(沖縄県 2005)

(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類 (CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体  
 資料: 「シュワブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.14 (3) マングローブ林の地点別環境情報(汀間川:地点3)

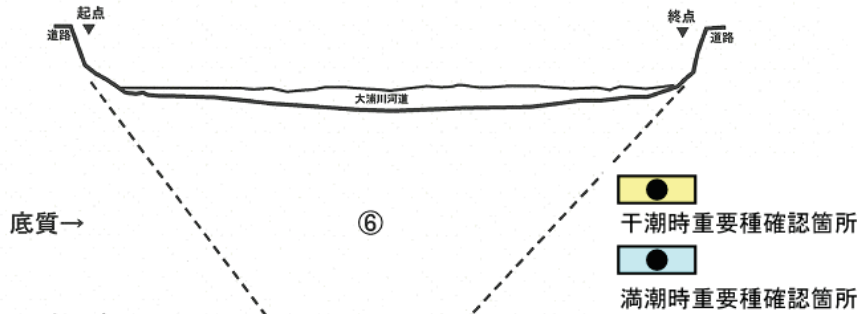
測線名	大浦川マングローブ林 地点1						
該当箇所	河川区域 マングローブ域の上流側						
植生・底質マトリックス	植生高	低	← マングローブ林 →				高
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレム グラー群落	マングローブ林		オヒルギ 亜高木林 (発達林分)	オヒルギ 亜高木林
	底質		メヒルギ 低木林 (ヤエマ ヒルギ 含む)	メヒルギ 亜高木林	マヒルギ 亜高木林 (ヤエマ ヒルギ 含む)	メヒルギ 亜高木林	オヒルギ 亜高木林
	①泥						
	②砂礫含む泥						
	③砂泥						
	④砂						
⑤小礫含む砂							
⑥砂礫							

凡例

- 当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ
- 当該測線で確認した植生・底質タイプ
- 調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】



出現例

種名	調査地点	起点	終点	重要種 <sup>注)</sup>			
				環境省RL旧	環境省RL新	沖縄県RDB	その他
干潮時	シマカノコ	●		NT	NT	NT	-
	イボアヤカワニナ	●	●	NT	NT	-	-
	ハザクラ	●		-	NT	NT	-
	オオテナガエビ	●		-	-	NT	-
	トゲアシヒライソガニモドキ	●		-	-	VU	-
	カワスナガニ	●	●	NT	NT	NT	-
満潮時 (水域)	シマカノコ		●	NT	NT	NT	-
	ベッコウフネアマガイ		●	NT	NT	DD	-
	イボアヤカワニナ		●	NT	NT	-	-
	ハザクラ		●	-	NT	NT	-
	カワスナガニ		●	NT	NT	NT	-
	ギンブナ		●		DD	VU	-
	ヒゲワラスボ		●		VU	-	-
ホシマダラハゼ		●		VU	-	-	

注) 凡例は以下のとおりです。汽水・淡水魚類の見直しは、2012年10月現在発表されていません。

環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類)(環境省 2007)

レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物)(環境省 2006)

環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物)(環境省 2012)

沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類(CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類

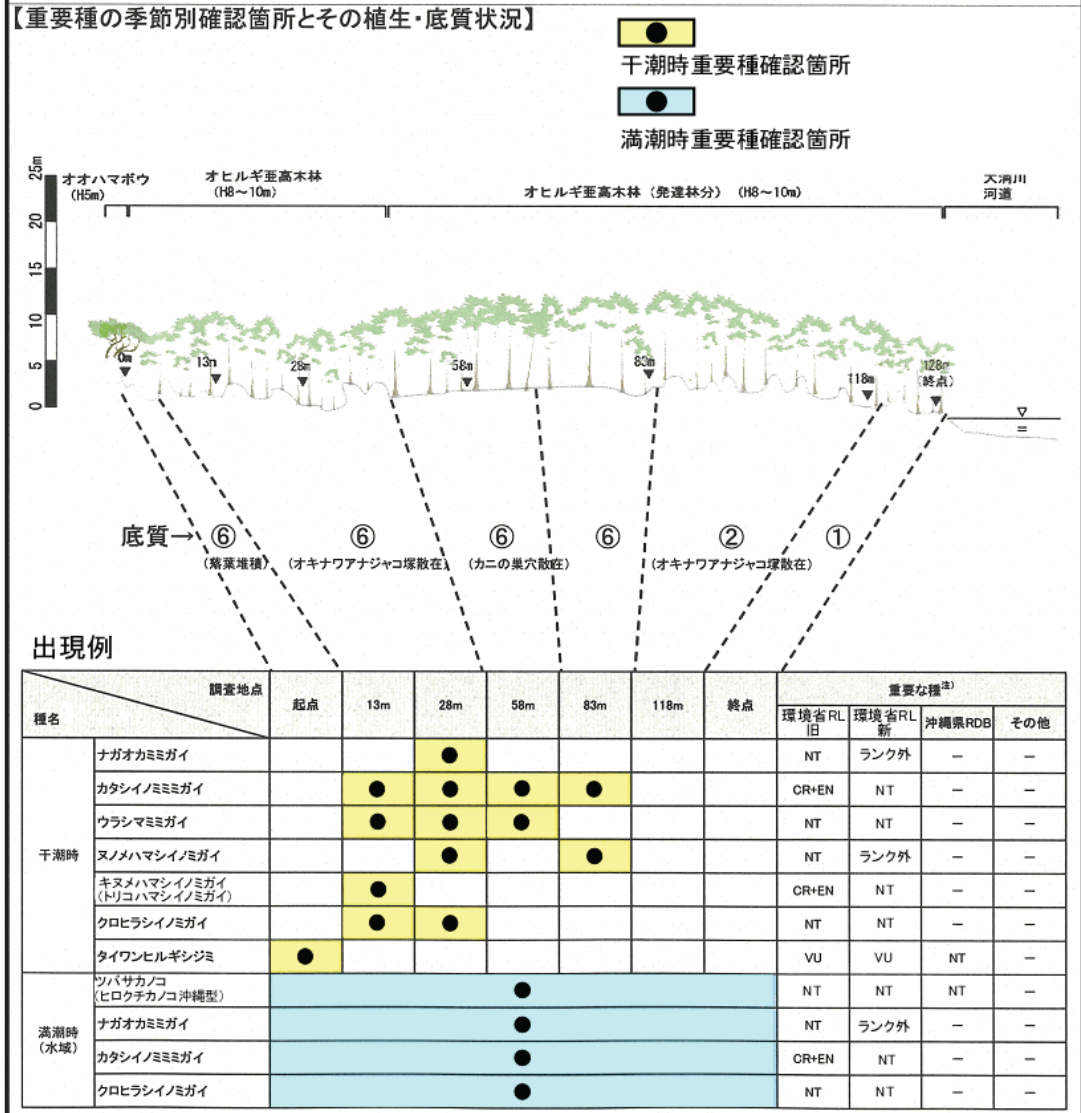
NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

資料: 「シュワブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.15 (1) マングローブ林の地点別環境情報(大浦川:地点1)

測線名	大浦川マングローブ林 地点2-1									
該当箇所	マングローブ域 上流部									
植生・底質マトリックス	植生高	← 低 → 高					凡例	・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。 		
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグラ群落	マングローブ林					オヒルギ亜高木林 (発達林分)	
	底質			含む (ヤエヤ ヒルギ マヒルギ 低木林)	メヒルギ ヤエヤ 低木林	マヒルギ ヤエヤ 高木林			オヒルギ ヤエヤ 高木林	オヒルギ ヤエヤ 高木林
	①泥									
	②砂礫含む泥									
	③砂泥									
	④砂									
	⑤小礫含む砂									
⑥砂礫										

環境情報図



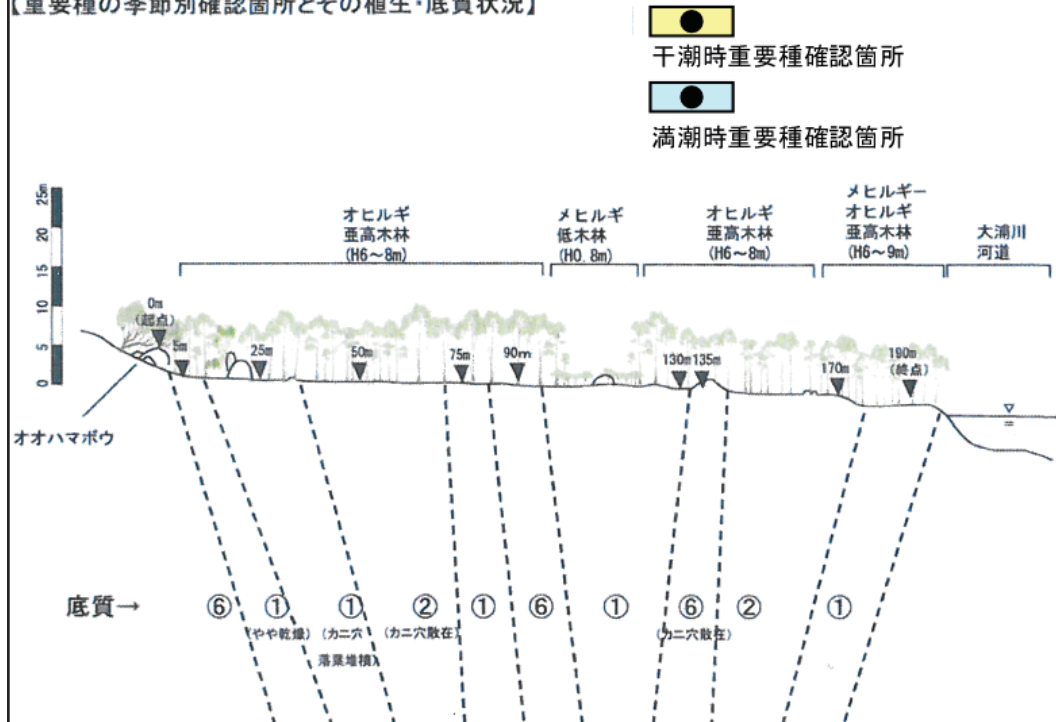
注) 凡例は以下のとおりです。  
 環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類) (環境省 2007)  
 レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物) (環境省 2006)  
 環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物) (環境省 2012)  
 沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)  
 (略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類(CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

資料: 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局  
 図-6.19.2.1.15 (2) マングローブ林の地点別環境情報(大浦川: 地点2-1)

測線名	大浦川マングローブ林 地点2-2		
該当箇所	マングローブ域 中流部		
植生・底質マトリックス	植生高	低 ← → 高	
	植生区分	裸地(水位変動域) ソナレムグラ群落 マングローブ林 (ヤエヤマヒルギ含む) メヒルギ低木林 (ヤエヤマヒルギ含む) メヒルギ亜高木林 オヒルギ低木林 (ヤエヤマヒルギ含む) オヒルギ亜高木林 (ヤエヤマヒルギ含む) オヒルギ低木林 (ヤエヤマヒルギ含む) オヒルギ亜高木林 (ヤエヤマヒルギ含む)	
	底質	①泥 ②砂礫含む泥 ③砂泥 ④砂 ⑤小礫含む砂 ⑥砂礫	
	凡例	・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。 当該河川では上~下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ 当該測線で確認した植生・底質タイプ 調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分	

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】



出現例

種名	調査地点	起点	5m	25m	50m	75m	90m	130m	135m	170m	終点	重要種 <sup>注)</sup>				
												環境省RL旧	環境省RL新	環境省RDB	その他	
アラハダカノコ		●											-	-	VU	-
シマカノコ		●	●										NT	NT	NT	-
マドモチウミナ					●	●	●	●					VU	VU	NT	-
ナガオカニガイ				●									NT	ランク外	-	-
カクシノミミガイ		●	●		●			●			●		CR+EN	NT	-	-
ウラシマミミガイ		●	●	●	●	●	●	●		●			NT	NT	-	-
クロヒラシノミガイ		●	●	●									NT	NT	-	-
マダラセシノミガイ									●				NT	NT	-	-
チゴイウガニ							●				●		-	-	NT	-
高潮時(水場)													-	-	-	-

注) 凡例は以下のとおりです。

環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類) (環境省 2007)

レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物) (環境省 2006)

環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物) (環境省 2012)




沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

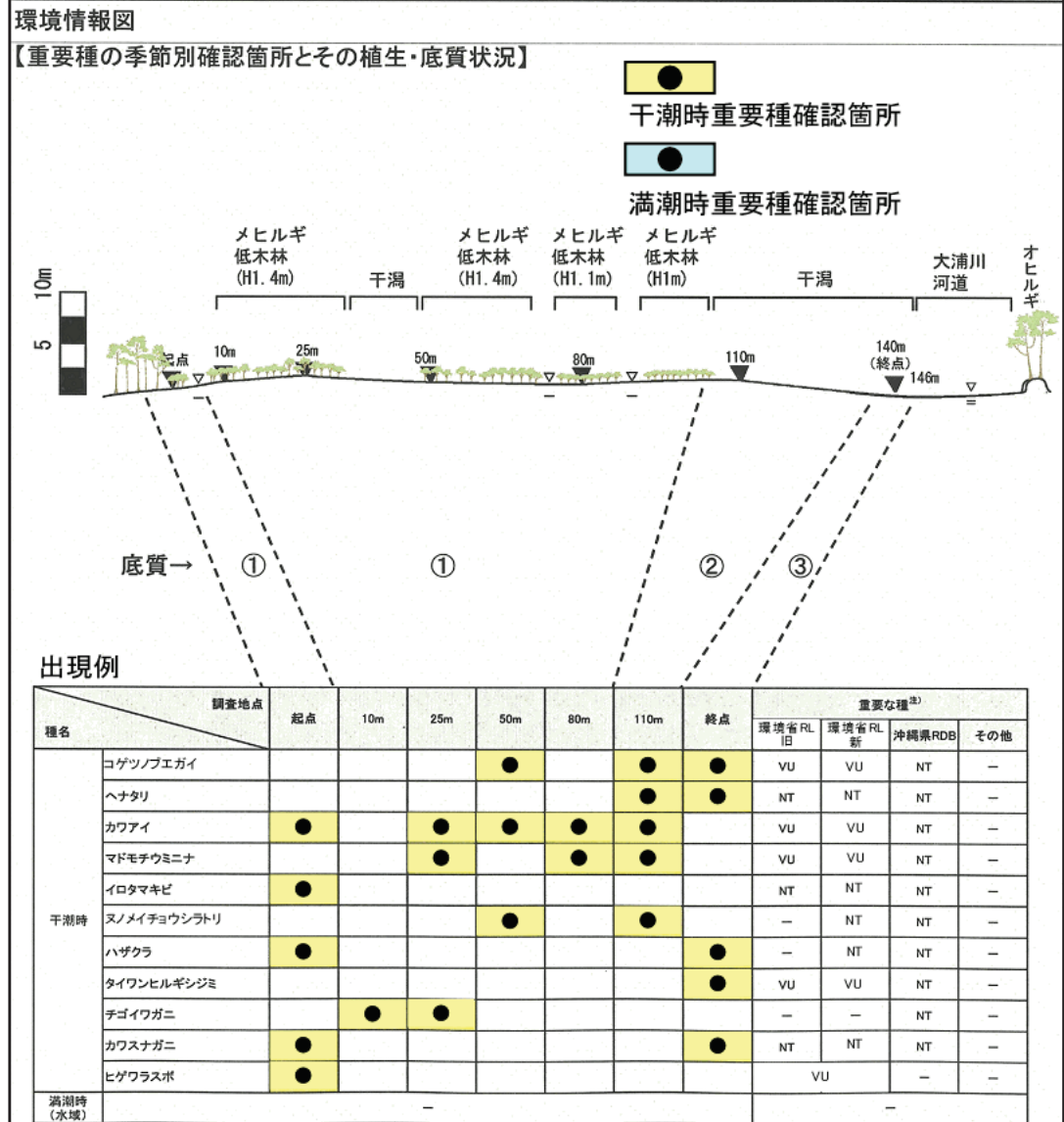
(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類(CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

資料: 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.15 (3) マングローブ林の地点別環境情報(大浦川:地点2-2)

測線名	大浦川マングローブ林 地点2-3										
該当箇所	マングローブ域 下流部										
植生・底質マトリックス	植生高	低	←—————→					高	凡例 ・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。   当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ  当該測線で確認した植生・底質タイプ  調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分		
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグラ群落	マングローブ林							
	底質			メヒルギ 低木林 (ヤエヤギ マヒルギ 含む)	メヒルギ 低木林	メヒルギ 亜高木林	オヒルギ 亜高木林	オヒルギ 高木林		オヒルギ 高木林	オヒルギ 高木林 (発達林分)
	①泥										
	②砂礫含む泥										
	③砂泥										
	④砂										
	⑤小礫含む砂										
⑥砂礫											






注) 凡例は以下のとおりです。汽水・淡水魚類の見直しは、2012年10月現在発表されていません。  
 環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類)(環境省 2007)  
 レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物)(環境省 2006)  
 環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物)(環境省 2012)  
 沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

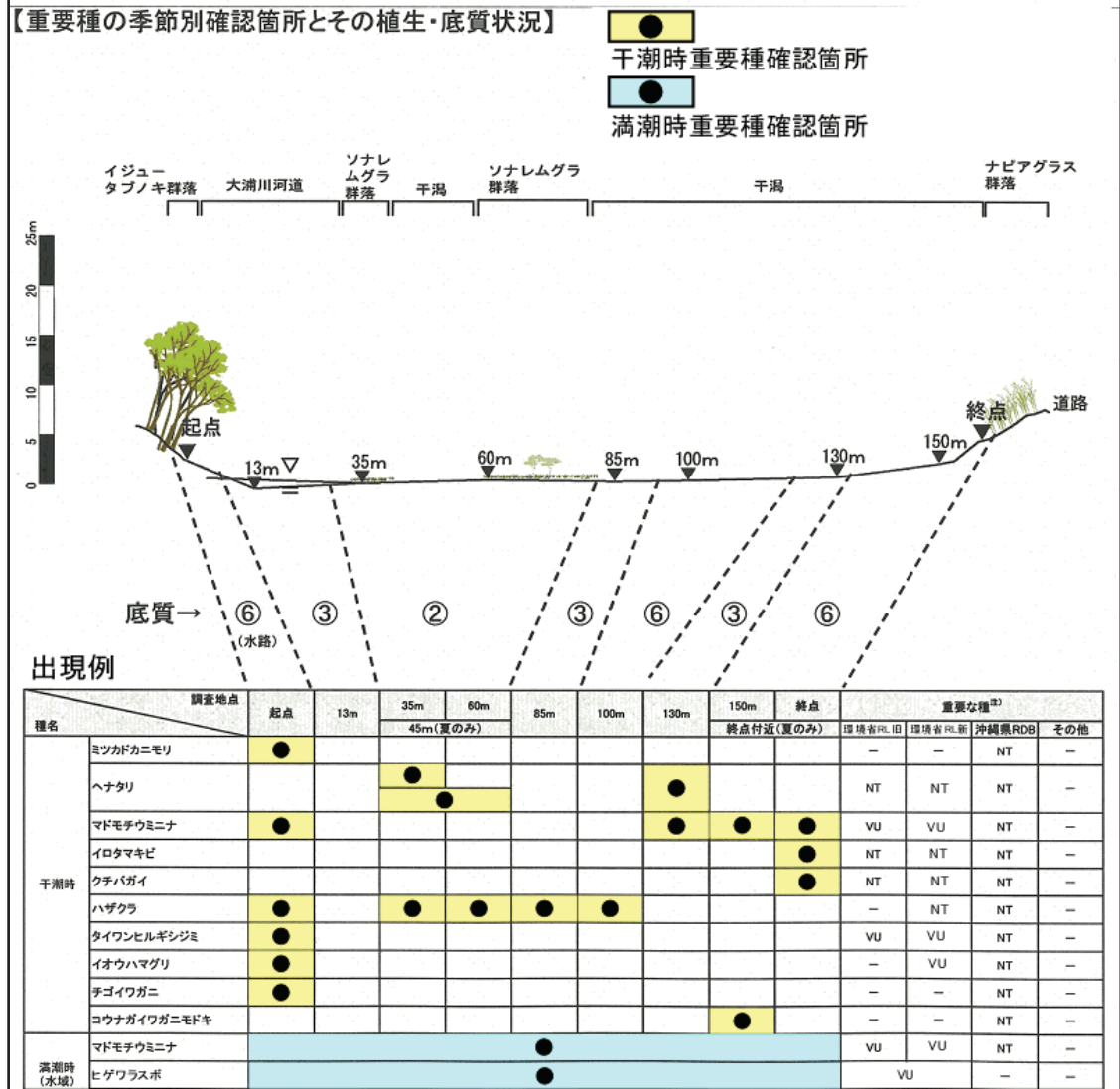
(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類(CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

資料: 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.15 (4) マングローブ林の地点別環境情報(大浦川:地点2-3)

測線名	大浦川マングローブ林 地点3						
該当箇所	河川区域 マングローブ域の下流側						
植生・底質マトリックス	植生高	低	← マングローブ林 →			高	
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグラ群落	マングローブ林			オヒルギ亜高木林 (発達林分)
	底質			含む メヒルギ ヤエヤ ヤエヤ 低木林	メヒルギ ヤエヤ 高木林	オヒルギ ヤエヤ 高木林	オヒルギ ヤエヤ 高木林
		①泥					
		②砂礫含む泥					
		③砂泥					
		④砂					
⑤小礫含む砂							
⑥砂礫							
凡例	<p>・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。</p> <p>  当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ   当該測線で確認した植生・底質タイプ   調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分 </p>						

環境情報図



注) 凡例は以下のとおりです。汽水・淡水魚類の見直しは、2012年10月現在発表されていません。  
 環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類) (環境省 2007)  
 レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物) (環境省 2006)  
 環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物) (環境省 2012)  
 沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類 (CR: 絶滅危惧 IA 類, EN: 絶滅危惧 IB 類), VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足, LP: 絶滅のおそれのある地域個体

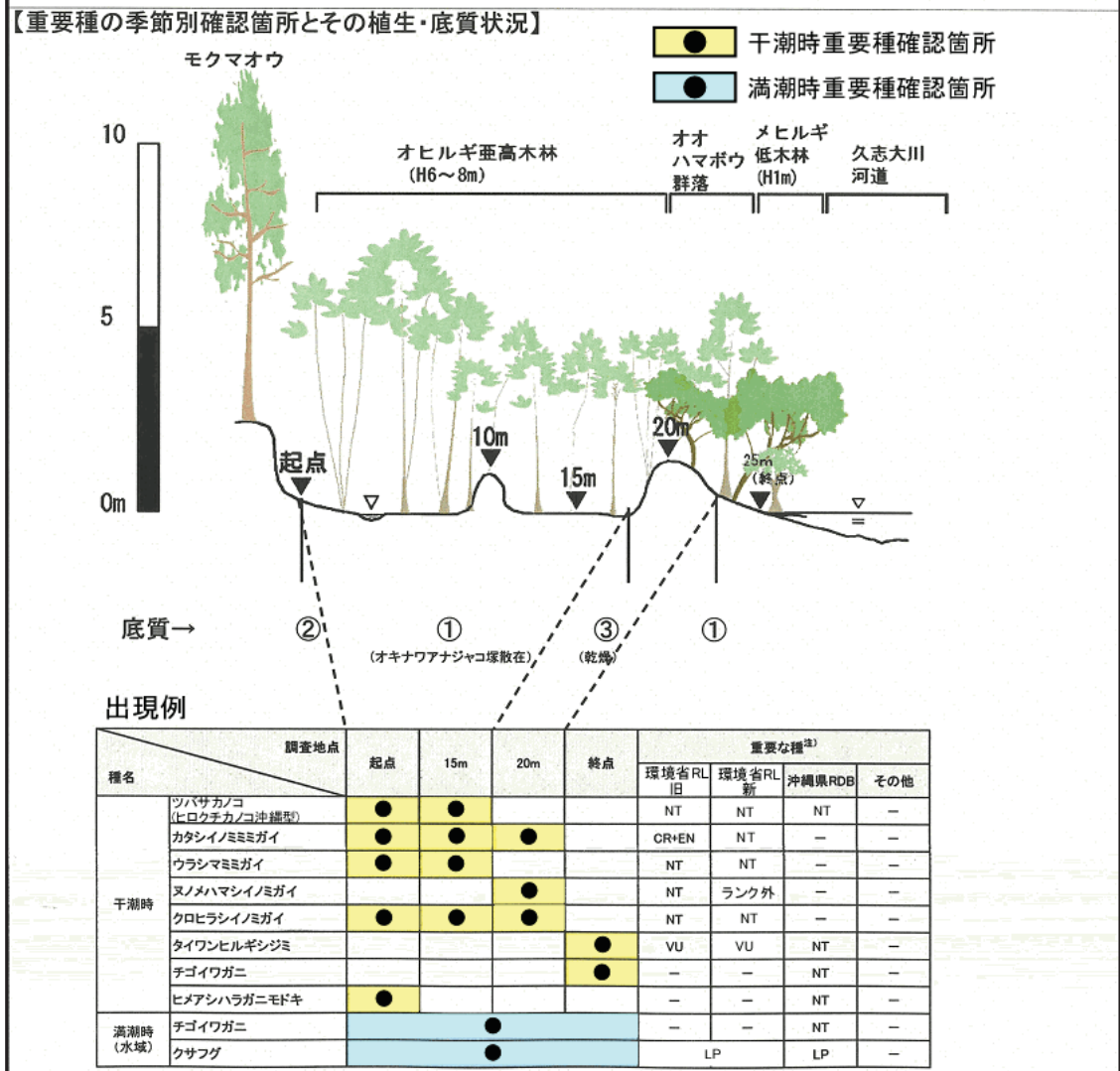
資料: 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.15 (5) マングローブ林の地点別環境情報(大浦川: 地点3)



測線名	オー川マングローブ林 地点1						
該当箇所	マングローブ域 上流部						
植生・底質マトリックス	植生高	低	←————→			高	
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグラ群落	マングローブ林			凡例 ・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。  
	底質		含む (ヤエヒルギ低木林 メヒルギマヒルギ メヒルギ低木林)	メヒルギ亜高木林	マオヒルギ亜高木林	オヒルギ亜高木林	
	①泥						
	②砂礫含む泥						
	③砂泥						
	④砂						
⑤小礫含む砂							
⑥砂礫							

環境情報図



注) 凡例は以下のとおりです。汽水・淡水魚類の見直しは、2012年10月現在発表されていません。  
 環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類)(環境省 2007)  
 レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物)(環境省 2006)  
 環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物)(環境省 2012)  
 沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類(CR: 絶滅危惧 IA 類, EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

資料: 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

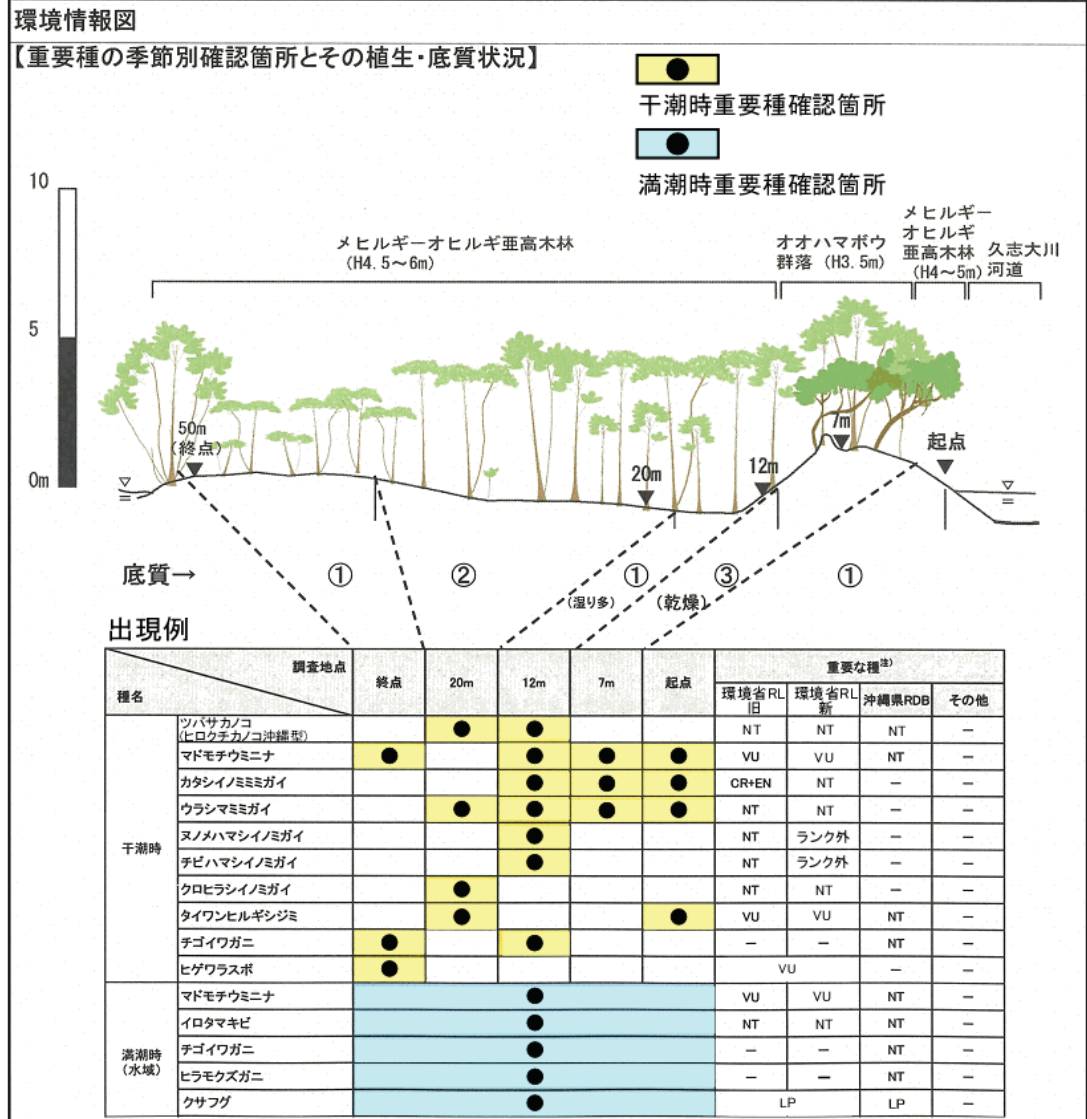
図-6.19.2.1.16 (1) マングローブ林の地点別環境情報(オー川:地点1)

測線名	オー川マングローブ林 地点2								
該当箇所	マングローブ域 中流部								
植生・底質マトリックス	植生高	低	← マングローブ林 →				高		
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグクラ群落	メヒルギ 含(ヤエヤ メヒルギ マヒルギ 低木林)	メヒルギ 垂高木林	マオヒルギ 垂高木林	オヒルギ 垂高木林	オヒルギ 垂高木林	オヒルギ 垂高木林 (発達林分)
	底質								
	①泥								
	②砂礫含む泥								
	③砂泥								
	④砂								
⑤小礫含む砂									
⑥砂礫									

凡例

- 当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ
- 当該測線で確認した植生・底質タイプ
- 調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分

・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。



注) 凡例は以下のとおりです。汽水・淡水魚類の見直しは、2012年10月現在発表されていません。  
 環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類)(環境省 2007)  
 レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物)(環境省 2006)  
 環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物)(環境省 2012)  
 沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類(CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

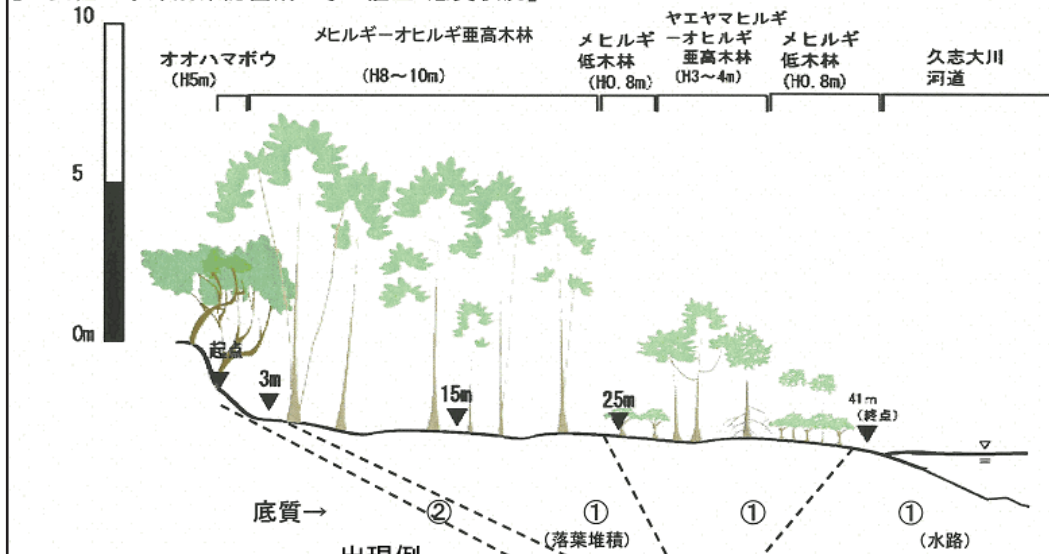
資料: 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.16 (2) マングローブ林の地点別環境情報(オー川:地点2)

測線名	オー川マングローブ林 地点3	
該当箇所	マングローブ域 下流部	
植生・底質マトリックス	植生高	低 ← → 高
	植生区分	裸地 (水位変動域)   ソナレムグラ群落   マングローブ林   オヒルギ亜高木林 (発達林分)
	底質	含む (ヤエヤマヒルギ低木林)   メヒルギ低木林   メヒルギ亜高木林   マヒルギ亜高木林   オヒルギ亜高木林   オヒルギ亜高木林   オヒルギ亜高木林
	①泥	
	②砂礫含む泥	
	③砂泥	
	④砂	
⑤小礫含む砂		
⑥砂礫		
凡例	<p>・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。</p> <p>● 当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ</p> <p>■ 当該測線で確認した植生・底質タイプ</p> <p>■ 調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分</p>	

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】



- 干潮時重要種確認箇所
- 満潮時重要種確認箇所

出現例

種名	調査地点	起点	15m	25m	終点	重要な種 <sup>注1)</sup>			
						環境省RL旧	環境省RL新	沖縄県RDB	その他
ヒラマキアマオブネ		●				NT	NT	NT	-
ツバサカノコ (ヒロクチカノコ沖縄型)		●	●	●		NT	NT	NT	-
シマカノコ		●				NT	NT	NT	-
カワアイ					●	VU	VU	NT	-
マドモチウミニナ		●	●	●		VU	VU	NT	-
ウラシマミミガイ		●		●		NT	NT	-	-
干潮時									
トガリユウシオガイ					●	-	NT	EN	-
ヌメイチョウシラトリ					●	-	NT	NT	-
タイワンヒルギシジミ				●		VU	VU	NT	-
リュウキュウアカテガニ		●	●	●		-	NT	NT	-
チゴイワガニ		●		●	●	-	-	NT	-
コウナガイワガニモドキ		●				-	-	NT	-
ヒゲワラスボ					●		VU	-	-
満潮時 (水域)									
チゴイワガニ			●			-	-	NT	-
ウナギ			●			DD	-	-	-
ジャノメハゼ			●			EN	VU	-	-
ヒゲワラスボ			●			VU	-	-	-
マングローブゴマハゼ			●			EN	-	-	-
クサフグ			●			LP	LP	-	-

注) 凡例は以下のとおりです。汽水・淡水魚類の見直しは、2012年10月現在発表されていません。  
 環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類) (環境省 2007)  
 レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物) (環境省 2006)  
 環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物) (環境省 2012)  
 沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類 (CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

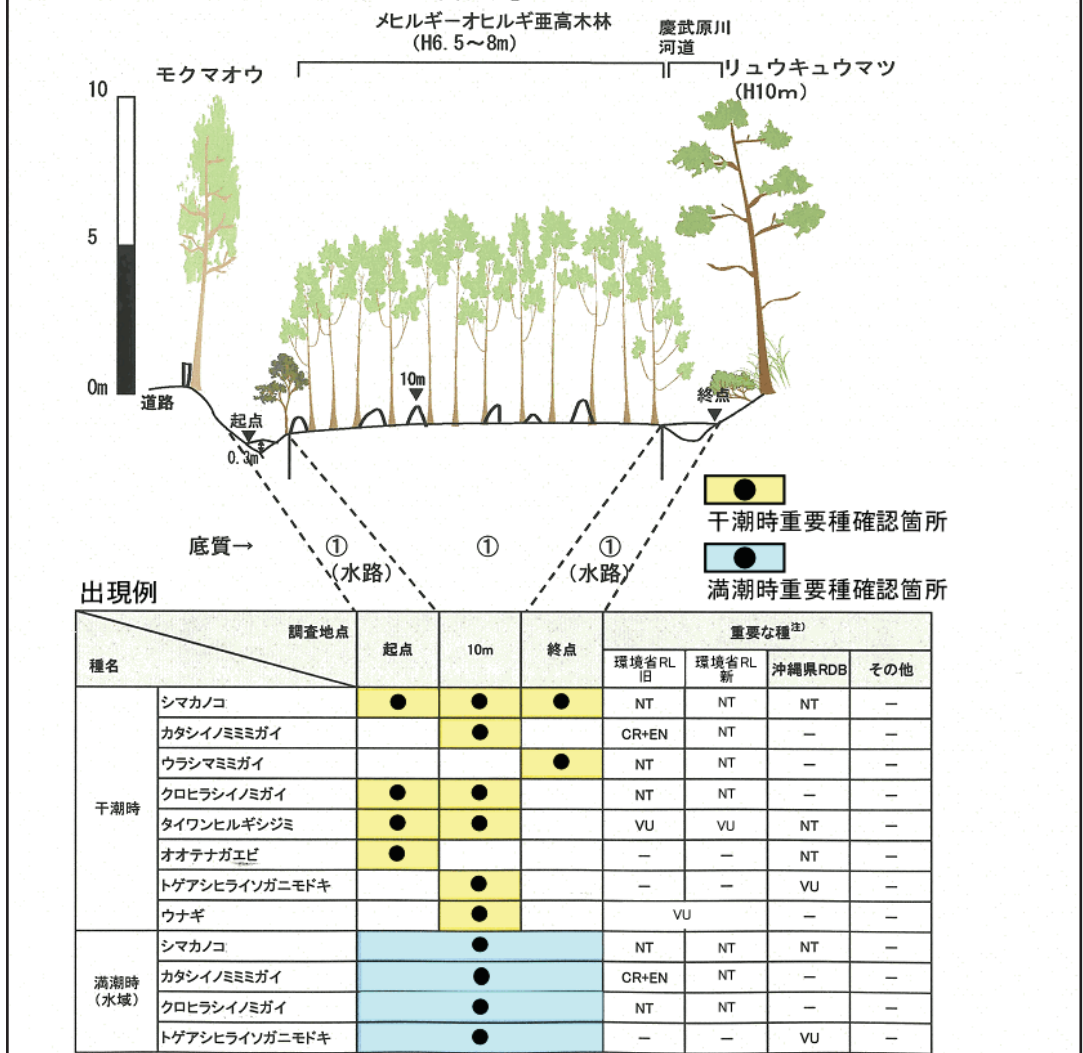
資料: 「シュワブ (H18) 環境現況調査(その4) 報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.16 (3) マングローブ林の地点別環境情報(オー川: 地点3)

測線名	松田慶武原川マングローブ林 地点1	
該当箇所	マングローブ域 上流部	
植生・底質マトリックス	植生高	低 ← → 高
	植生区分	裸地 (水位変動域)   ソナレムグラ群落   マングローブ林 (メヒルギ低木林, ヤエギマヒルギ低木林, ヤエギマヒルギ高木林, オヒルギ高木林, オヒルギ亜高木林, オヒルギ高木林, オヒルギ高木林, オヒルギ高木林)
	底質	①泥   ②砂礫含む泥   ③砂泥   ④砂   ⑤小礫含む砂   ⑥砂礫
	凡例	・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。
		当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ
		当該測線で確認した植生・底質タイプ
		調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】



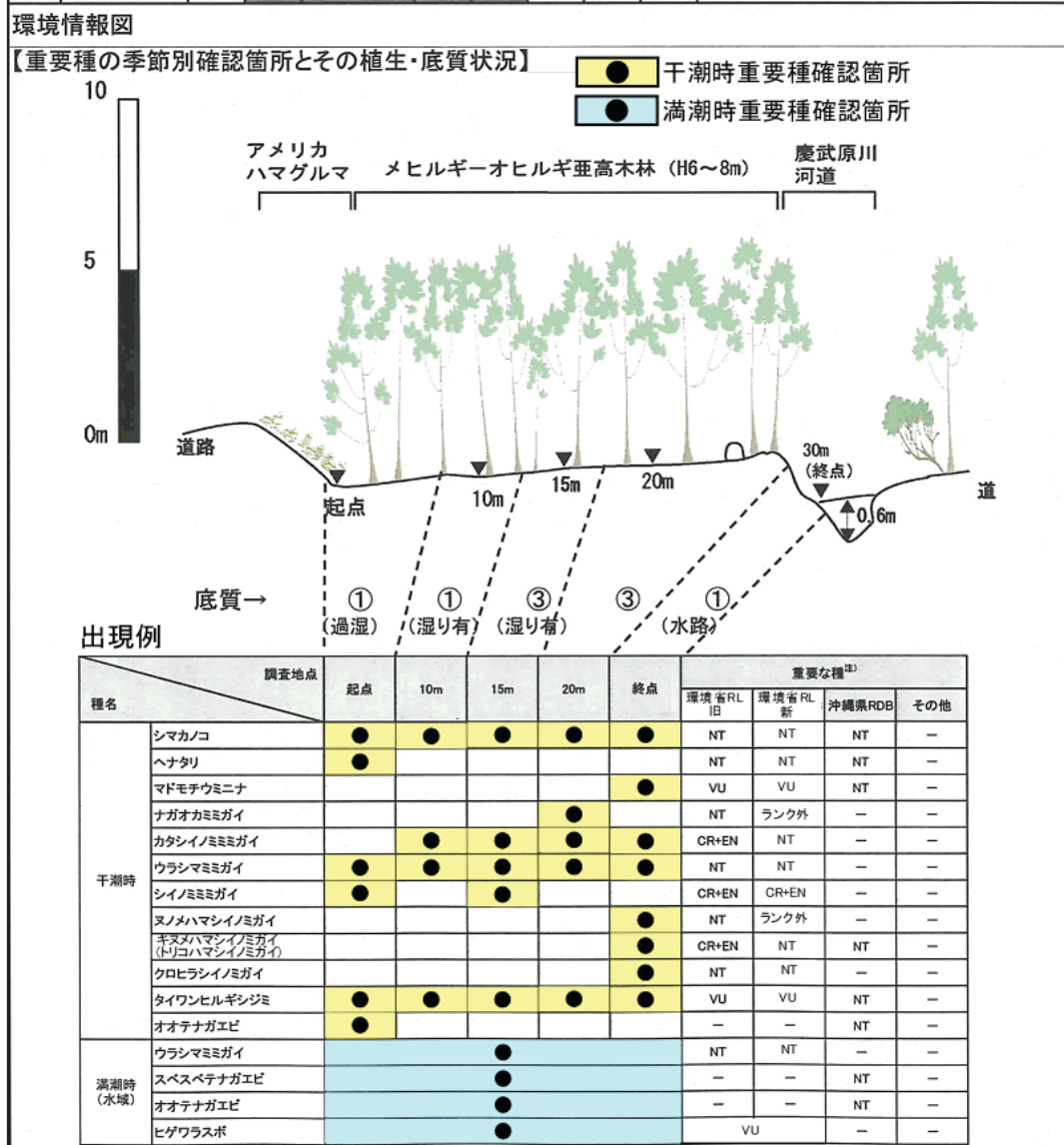
注) 凡例は以下のとおりです。汽水・淡水魚類の見直しは、2012年10月現在発表されていません。  
 環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類) (環境省 2007)  
 レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物) (環境省 2006)  
 環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物) (環境省 2012)  
 沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類 (CR: 絶滅危惧 IA 類, EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

資料: 「シュラブ (H18) 環境現況調査(その4) 報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.17 (1) マングローブ林の地点別環境情報(松田慶武原川: 地点1)

測線名	松田慶武原川マングローブ林 地点2									
該当箇所	マングローブ域 中流部									
植生・底質マトリックス	植生高	← 低					→ 高			
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグー群落	マングローブ林				凡例 ・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。  		
	底質			含む (ヤエヤギ メヒルギ 木ヒルギ 木ヒルギ)	メヒルギ 垂高木林	メヒルギ 垂高木林	メヒルギ 垂高木林		オヒルギ 垂高木林	オヒルギ 垂高木林 (発達林分)
	①泥									
	②砂礫含む泥									
	③砂泥									
	④砂									
⑤小礫含む砂										
⑥砂礫										



注) 凡例は以下のとおりです。汽水・淡水魚類の見直しは、2012年10月現在発表されていません。  
 環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類)(環境省 2007)  
 レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物)(環境省 2006)  
 環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物)(環境省 2012)  
 沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)




(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類 (CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類  
 NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

資料: 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.17 (2) マングローブ林の地点別環境情報(松田慶武原川:地点2)

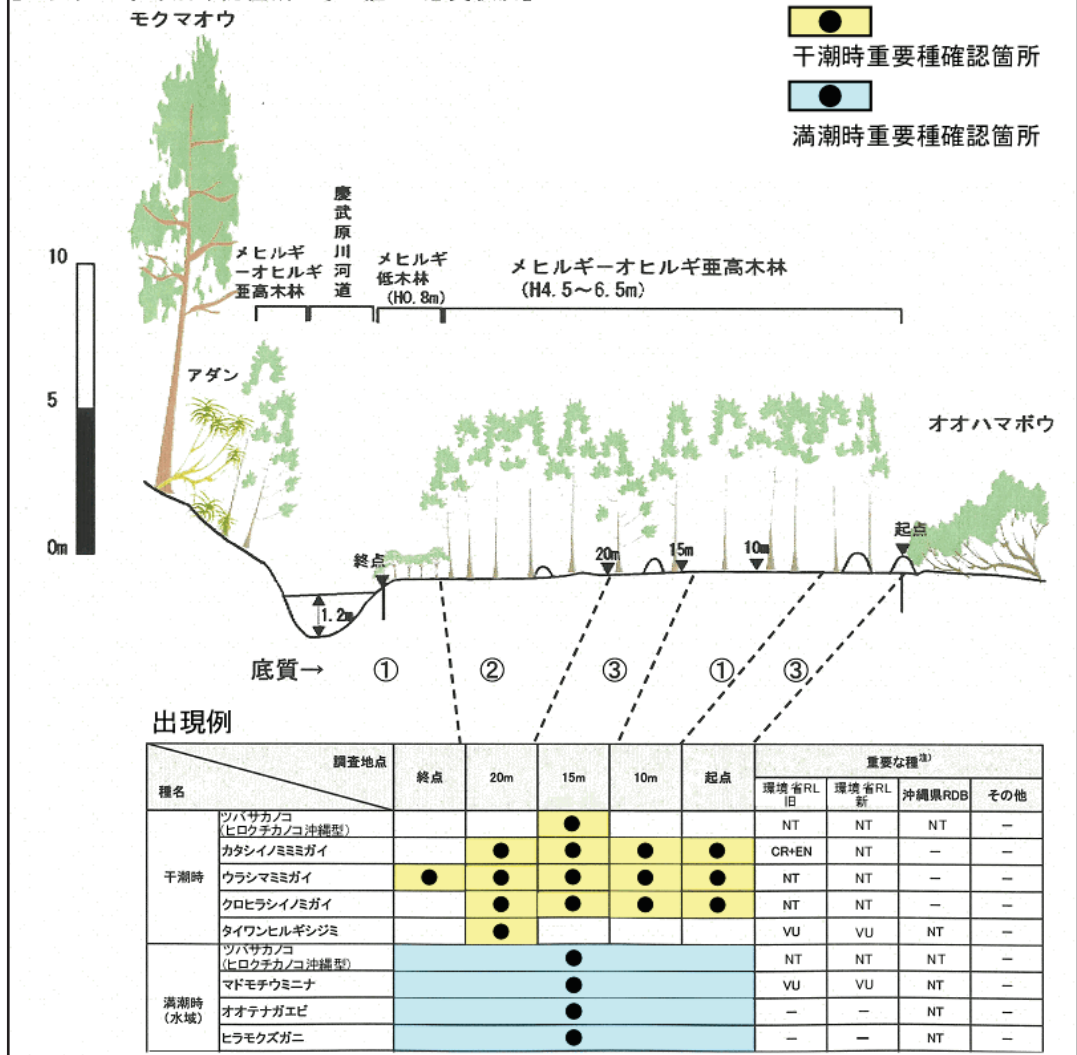
測線名	松田慶武原川マングローブ林 地点3							
該当箇所	マングローブ域 下流部							
植生・底質マトリックス	植生高	低	高				凡例	
	植生区分	裸地 (水位変動域)	ソナレムグラ群落	マングローブ林				
	底質		含む メヒルギ ヤマヒルギ 低木林	メヒルギ 亜高木林	メヒルギ ヤエヤ 高木林	メヒルギ 亜高木林		オヒルギ 亜高木林 (発達林分)
	①泥							
	②砂礫含む泥							
	③砂泥							
	④砂							
⑤小礫含む砂								
⑥砂礫								

・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。

 当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ  
 当該測線で確認した植生・底質タイプ  
 調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】



注) 凡例は以下のとおりです。

環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類) (環境省 2007)

レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物) (環境省 2006)

環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物) (環境省 2012)

沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類 (CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

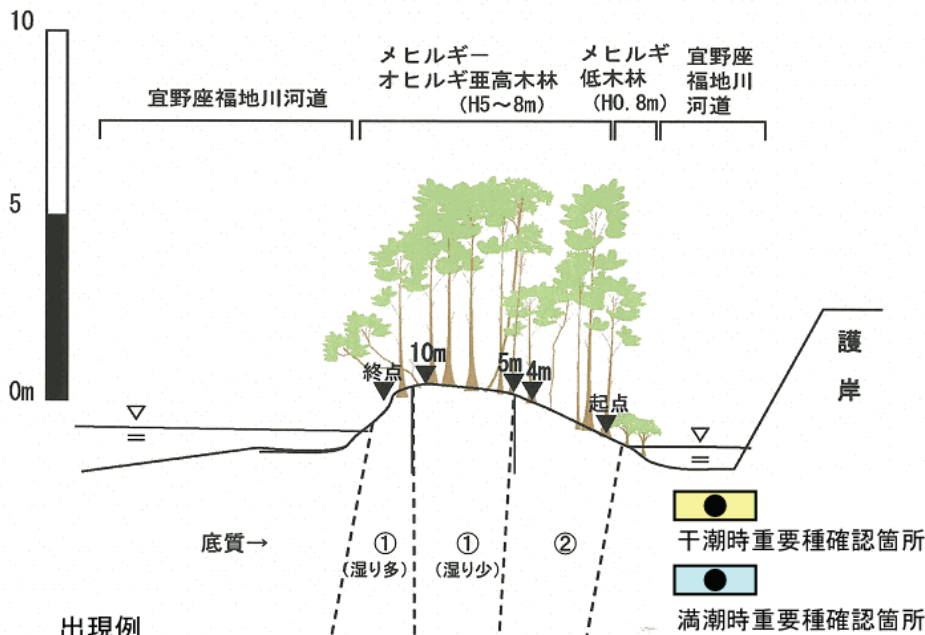
資料: 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.17 (3) マングローブ林の地点別環境情報(松田慶武原川: 地点3)

測線名	宜野座福地川マングローブ林 地点1								
該当箇所	マングローブ域 上流部								
植生・底質マトリックス	植生高	低 ← → 高						凡例 ・マトリックスの縦横軸の区分は、調査対象5河川全てのマングローブ林で確認した植生タイプ及び底質タイプを表示したものである。  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">当該河川では上～下流のいずれの測線でも出現しなかった植生タイプ</div> <div style="background-color: #90EE90; border: 1px solid black; padding: 2px;">当該測線で確認した植生・底質タイプ</div> <div style="background-color: #808080; border: 1px solid black; padding: 2px;">調査対象5河川全てにおいて、確認しなかった植生・底質区分</div> </div>	
	植生区分	裸地（水位変動域）	ソナレムグラ群落	マングローブ林					オヒルギ亜高木林（発達林分）
	底質			メヒルギ低木林 （メヒルギヤマヒルギ含む）	メヒルギ亜高木林	オヒルギ低木林 （メヒルギヤマヒルギ含む）	オヒルギ亜高木林		
	①泥								
	②砂礫含む泥								
	③砂泥								
	④砂								
	⑤小礫含む砂								
⑥砂礫									

環境情報図

【重要種の季節別確認箇所とその植生・底質状況】



出現例

種名	調査地点	終点	5m	起点	重要な種 <sup>注)</sup>			
					環境省RL旧	環境省RL新	沖縄県RDB	その他
干潮時	ツバサカノコ (ヒロクチカノコ沖縄型)	●			NT	NT	NT	-
	タイワンヒルギシジミ	●	●	●	VU	VU	NT	-
	チゴイワガニ			●	-	-	NT	-
	ミゾテアシハラガニ			●	-	-	NT	-
	ヒラモクズガニ	●				-	-	NT
満潮時 (水域)	イロタマキビ		●		NT	NT	NT	-
	ハザクラ		●		-	NT	NT	-
	チゴイワガニ		●		-	-	NT	-
	クサフグ		●		LP		LP	-

注) 凡例は以下のとおりです。汽水・淡水魚類の見直しは、2012年10月現在発表されていません。

環境省 RL 旧: レッドリストの見直しについて(汽水・淡水魚類、貝類)(環境省 2007)

レッドリストの見直しについて(その他無脊椎動物)(環境省 2006)

環境省 RL 新: 第4次レッドリストの公表について(貝類、その他無脊椎動物)(環境省 2012)

沖縄県 RDB: 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)-レッドデータおきなわ-(沖縄県 2005)

(略号) CR+EN: 絶滅危惧 I 類(CR: 絶滅危惧 IA 類、EN: 絶滅危惧 IB 類)、VU: 絶滅危惧 II 類

NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体

資料: 「シュラブ(H18)環境現況調査(その4)報告書」平成20年10月、沖縄防衛局

図-6.19.2.1.18 (1) マングローブ林の地点別環境情報(宜野座福地川:地点1)